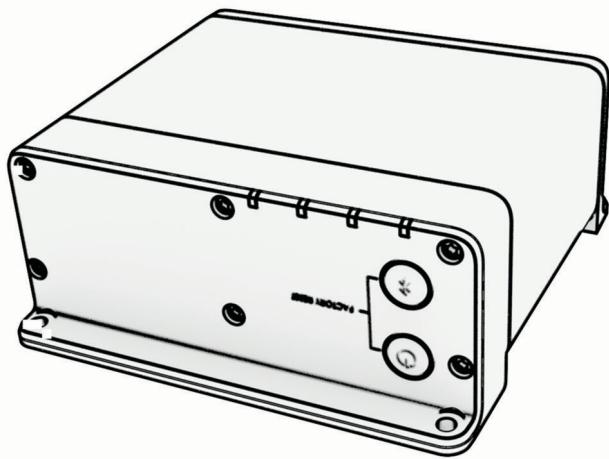


GARMIN[®]



APOLLO™ MS-WB670

マリンエンターテイメントシステム

© 2020 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、ANT®、Fusion®、および Fusion ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。Apollo™、および Fusion PartyBus™は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Apple®および AirPlay®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の商標です。App Store™は Apple Inc.のサービスマークです。Android™および Google Play™は Google Inc.の登録商標です。BLUETOOTH®ワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのマークを使用しています。NMEA®、NMEA 2000®、および NMEA 2000 ロゴは、National Marine Electronics Association の登録商標です。All rights reserved. SiriusXM®、SportsFlash™、TuneMix™、TuneStart™、および関連するすべてのマークとロゴは、Sirius XM Radio Inc.の商標です。All rights reserved. その他の商標および商標名はそれぞれの所有者の所有物です。

M/N: A03924

IC: 1792A-03924

目次

はじめに	1	ラジオ	13
ステレオボタンとステータス LED	1	チューナーの地域を設定する	13
コントロールメニュー	2	ラジオ局の変更	13
テキストの入力	4		
ダイヤルを使用したアイテムの選択	4		
ステレオ画面	4	Apple AirPlay	14
デバイスの名前指定	5	Apple を使用した AirPlay デバイスの接続	14
ホームゾーンの設定	5	AirPlay パスワードを設定する	14
ソースを選択する	5		
オーディオコントロール	6	補助デバイスを接続する	14
音量を調整する	6	光オーディオ接続	14
接続したすべてのステレオをミュートする	6		
サブウーファーレベルを調整する	6		
トーンを調整する	6	SiriusXM 衛星ラジオ	15
ゾーンの大音量設定を無効にする	6	SiriusXM ソースのチューナーの地域を設定する	15
補助デバイスのゲインを調整する	7	SiriusXM ラジオ ID を確認する	15
スピーカーゾーン	7	SiriusXM サブスクリプションの有効化	15
DSP 設定	7	カテゴリーを選択する	15
DSP 設定を構成する	7	再生モードを使用する	16
速度に基づく自動音量調整	8	アラート	16
メディアプレーヤー接続	8	アーティストまたは曲のアラートを追加する	16
Bluetooth デバイスの再生	8	ゲームアラートのチームを追加する	16
対応する Bluetooth デバイスを接続する	9	チームをライブゲームから追加する	16
Bluetooth 範囲の情報	9	アクティブアラートを表示する	16
別の Bluetooth デバイスの選択	9	アラートを管理する	17
Bluetooth ソースメニューと設定	10	TuneMix™ 機能	17
Bluetooth 自動接続を無効にする	10	TuneMix コレクションを開始および停止する	17
USB デバイスの再生	11	TuneMix コレクションを作成およびカスタマイズする	17
USB デバイスの互換性	11	SportsFlash 機能	18
USB デバイスを接続する	11	SportsFlash アラートを受信するチームを追加する	18
USB フラッシュドライブ、メディアプレーヤーで音楽再生を制御する	12	SportsFlash 優先チームを変更する	18
接続した Android デバイスで音楽再生を制御する	12	TuneStart™ 機能を有効にする	18
接続した Apple デバイスで音楽再生を制御する	12	ペアレンタルコントロール	18
USB ソース設定	12	ペアレンタルコントロールをロック解除する	19
		チャンネルをロックする	19
		ロックされているすべてのチャンネルをクリアする	19

ペアレンタルコントロールのパスコードを変更する	19
SiriusXM のトラブルシューティング ..	20
SiriusXM データを消去する	21
DAB の再生	21
チューナーの地域を設定する	21
DAB 放送局のスキャン	21
DAB 放送局の変更	21
DAB 放送局をリストから選択する ..	21
DAB 放送局をカテゴリから選択す る	22
プリセット	22
放送局またはチャンネルをプリセットと して保存する	22
プリセットをリストから選択する	22
プリセットを削除する	22
Fusion PartyBus ネットワーク	23
グループの作成	23
グループの編集	23
グループから退出する	23
グループ化されたステレオ機能	24
グループ化されたステレオソースに関す る注意事項	24
グループの同期化	25
グループ同期を有効にする	25
LED 照明コントロール	26
LED ライトのオン/オフの切り替え	26
LED ライト効果をオンにする	26
LED ライトシーンの開始	26
音楽に反応するように LED ライトを設 定する	27
LED ライトの制御と設定 (ActiveCaptain アプリを使用)	27
ActiveCaptain アプリの操作手順	27
接続済みの LED ライトの初期化 (ActiveCaptain アプリを使用)	28
一般設定	28
スピーカーゾーンの設定	29
内蔵アンプを無効にする	29
ホームゾーンの設定	29
ソースとゾーンの音量レベルを同期す る	29
電源オン音量制限を調整する	29
個々のゾーンの音量レベルを維持す る	30
速度に基づく自動音量調整を有効にす る	30
自動音量調節設定	30
ゾーンを無効にする	31
ゾーン名を設定する	31
ゾーンをリンクする	31
ゾーン 3 または 4 の音量調節を接続さ れたアンプからできるようにする ..	31
サブウーファーフィルタを調整す る	32
ゾーンの追加のオーディオ設定を調整 する	32
ソースの設定	32
ネットワークの設定	32
ステレオを有線 DHCP サーバーとし て設定する	33
静的 IP アドレスを設定する	33
DHCP 設定	34
Garmin ネットワークへのステレオの 接続	34
ネットワーク設定をリセットする ..	34
更新オプション	35
追加のステレオコントロールオプショ ン	36
Garmin ウォッチに接続する	36
ARX70 リモートコントロールに接続す る	36
Fusion Audio ワイヤレスリモートコント ロールアプリ	36
Fusion ステレオネットワークの接続と コントロール	37
NMEA 2000 の情報	37
付録	37
Fusion デバイスの登録	37
デバイスのクリーニング	37
ソフトウェア更新	37
USB フラッシュドライブを使用してソ フトウェアを更新する	38
ソフトウェア更新を手動でダウンロ ードする	38
Garmin Express アプリを使用した ソフトウェア更新のダウンロー ド	39

準備した USB フラッシュドライブ からソフトウェアを更新する	40
Fusion Audio アプリを使用したソフト ウェアの更新	41
ネットワーク更新オプション	42
Garmin ネットワークの更新の一部 としてソフトウェアを更新する ...	42
USB フラッシュドライブと接続され ている Garmin チャートプロッター を使用してソフトウェアを更新す る	42
トラブルシューティング	43
キーを押してもステレオが反応しな い	43
Bluetooth オーディオがわずかな時間 中断する	43
Bluetooth ソースの曲情報のうちステ レオに表示されないものがある	43
ネットワークのトラブルシューティン グ	43
ネットワークステータスのアイコ ン	43
ステレオは Apple デバイスに接続した ときロックされたままになる	44
接続されている Apple デバイスをステ レオが見つけられない	44
Apple AirPlay オーディオがわずかな 時間中断する	44
ステレオは DAB 放送局を受信しませ ん	44
仕様	45
ステレオ寸法図面	46
側面寸法	46
上部寸法	46

はじめに

⚠️ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

ステレオボタンとステータス LED

このデバイスは簡単にアクセスできない場所に設置するように設計されているため、ほとんどの再生およびデバイスの操作は、ネットワークに接続されたリモートコントロール、ステレオ、またはチャートプロッターで行います。場合により、デバイス本体の LED を確認、またはデバイス本体のボタンを押す必要があります。

⚠️ 警告

このデバイスを操作するために操舵装置から離れないでください。操舵装置から離れたり、このデバイスに気を取られたりすると、事故が発生して重傷や死亡につながるおそれがあります。

ステレオボタン

	押すとステレオがオンになります。 ステレオをオフにするには、2秒間長押しします。 ステレオをリセットするには、10秒間長押しします。
	押して、ステレオを BLUETOOTH®デバイスに検出可能にします。
 および 	ステレオを工場出荷時の設定に戻すには、両方のボタンを同時に10秒間押し続けます。

ステータス LED

アイコン	LED の点灯状態	LED ステータス
	点灯	ステレオに電力が供給されています。
	点滅	デバイスが起動中です。
	点灯	ステレオはオンで、正常に動作しています。
	オフ	ステレオはオフです。
	点滅	ステレオはイーサネットを使用して通信しています。
	点滅	ステレオは BLUETOOTH デバイスで検出可能です。
	点灯	ステレオは BLUETOOTH デバイスに接続されています。

コントロールメニュー

注：これらのステレオコントロールは、Fusion® ERX400 など、接続済みリモートコントロールを使用する場合に使用可能になります。チャートプロッター、NRX リモコン、またはネットワーク上の別のステレオを使用してステレオを制御する場合、詳細についてはそのデバイスの操作マニュアルを参照する必要があります。



ダイヤル	<ul style="list-style-type: none"> 音量を調整します。 音量を調節しているとき、押すとゾーンが切り替わります。 回すと、メニューを移動したり設定を調整したりできます。 メニュー表示で、押すと強調表示されたオプションを選択できます。 長押しすると、ラジオプリセットを開く、またはミュート画面から接続されているすべてのステレオをミュートするなどの特定の機能が有効になります (接続したすべてのステレオをミュートする, 6 ページ)。
	<ul style="list-style-type: none"> 押してリモートコントロールをオンにします。 押すと、オーディオがミュート / ミュート解除されます。 長押しすると、ステレオ、またはネットワーク上のすべてのステレオがオフになります。 10 秒以上長押しして、リモコンをリセットします。 <p>注：接続されているリモートコントロールの電源をオンまたはオフにすると、ステレオの電源がオンまたはオフになります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 押すとメニューが開きます。 押すとメニューの前の画面に戻ります。 長押しするとメニューが終了します。
	<p>押してソースを選択します。</p> <p>ヒント：ダイヤルを回して参照し、ダイヤルを押してソースを選択できます。</p> <p>Fusion PartyBus™ネットワークに接続しているときに長押しするとグループメニューが開きます (Fusion PartyBus ネットワーク, 23 ページ)。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 押すと前のトラックにスキップします (該当するソースを使用している場合)。 長押しするとトラックが巻き戻しされます (該当するソースを使用しているとき)。 AM / FM : <ul style="list-style-type: none"> 押すと、前回の局やプリセットにチューニングされます。 長押しすると、チューニングが速くなります (手動モードのみ)。 AUX : 押すと、ゲインが下がります。 SiriusXM ソース : <ul style="list-style-type: none"> ライブモードで押すと、前のラジオ局またはプリセットにチューニングできます。 ライブモードで長押しすると、チューニングが速くなります (手動モードのみ)。 リプレイモードで押すと、前のトラックにスキップします。 リプレイモードで長押しすると、現在のトラックを巻き戻します。 DAB ソース : <ul style="list-style-type: none"> 押すと、アンサンブルで前の DAB 局に戻ります。現在のアンサンブルの始めに到達したら、前のアンサンブルで聴ける最後の局に自動的に変わります。 長押しすると、前の DAB アンサンブルに戻ります。
	<ul style="list-style-type: none"> BLUETOOTH または USB : 押すと、現在のトラックが一時停止になるか再開されます。 AM / FM : <ul style="list-style-type: none"> 押すと、チューニングモード (自動、手動、プリセット) が切り替わります。 長押しすると、現在の局がプリセットとして保存されます。 SiriusXM ソース : <ul style="list-style-type: none"> 長押しすると、再生モードとライブモードが切り替わります。 ライブモードでは、押すとチューニングモード (マニュアル、カテゴリー、プリセット) が切り替わります。 再生モードでは、押すと一時停止 / 再生します。 DAB : <ul style="list-style-type: none"> 押すと、手動チューニングモードとプリセットが切り替わります。 長押しすると、DAB 放送局がスキャンされます。
	<ul style="list-style-type: none"> 押すと次のトラックへスキップします (該当するソースを使用しているとき)。 長押しするとトラックが早送りされます (該当するソースを使用しているとき)。

- AM / FM :
 - 押すと、次の局またはプリセットにチューニングされます。
 - 長押しすると、チューニングが速くなります（手動モードのみ）。
- AUX : 押すと、ゲインが上がります。
- SiriusXM ソース :
 - ライブモードで押すと、次のラジオ局またはプリセットにチューニングできます。
 - ライブモードで長押しすると、チューニングが速くなります（手動モードのみ）。
 - リプレイモードで押すと、次のトラックにスキップします。
 - リプレイモードで長押しすると、現在のトラックが早送りされます（該当する場合）。
- DAB ソース :
 - 押すと、アンサンブルで次の DAB 局に進みます。現在のアンサンブルの最後に到達したら、次のアンサンブルで利用できる 1 つ目の放送局に自動的に変更されます。
 - 長押しすると、次の DAB アンサンブルに進みます。

テキストの入力

- 1 テキストを入力できるフィールドで、を選択して、既存のテキストを消去します。
- 2 必要に応じて、またはを選択して数字、記号、または小文字を使用します（使用可能な場合）。
- 3 ダイヤルを回して文字を選択し、ダイヤルを押して選択します。
- 4 を選択して、新しいテキストを保存します。

ダイヤルを使用したアイテムの選択

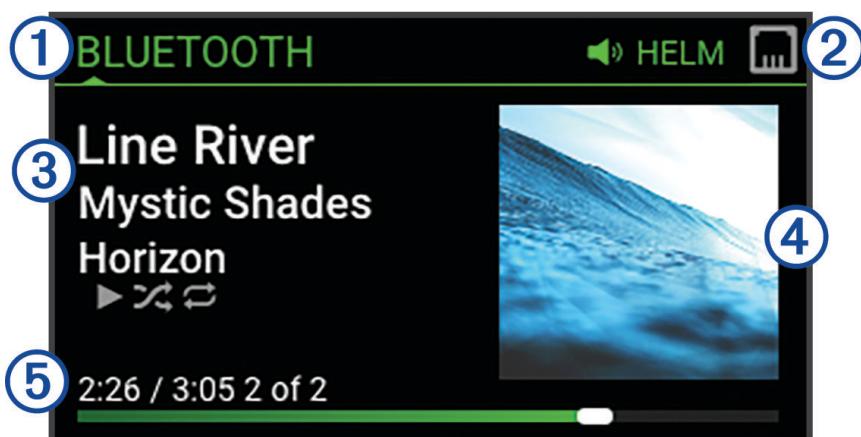
ダイヤルを使用して、画面のアイテムを強調表示して選択できます。

- ダイヤルを回して、画面のアイテムを強調表示します。
- ダイヤルを押して、強調表示されたオプションを選択します。

ステレオ画面

画面に表示される情報は、選択したソースに応じて異なります。この例では、Bluetooth®無線技術を使用して接続したデバイスでのトラックの再生を示しています。

注：表示されている画面は、Apollo ERX400 などの接続されたリモートコントロールからのものです。チャートプロッターを使用してステレオを制御している場合、詳細についてはチャートプロッターのマニュアルを参照してください。



①	ソース名
②	アクティブゾーンおよびステータスアイコン (ネットワークステータスのアイコン, 43 ページ)
③	トラックの詳細 (利用可能な場合)
④	アルバムアート (対応ソースから得られる場合)
⑤	経過時間、トラックの再生時間、プレイリスト内の総トラック数のうち現在のトラック番号 (該当する場合)

デバイスの名前指定

Fusion PartyBus ネットワーク上で本機を表示する際に識別しやすくするように、本機に一意の名前を付ける必要があります。

注：ステレオやゾーンをグループ化、制御、設定する際に混乱しないように、ネットワーク上のすべてのデバイスとゾーンに一意の名前を付ける必要があります。使用していないゾーンもオフにする必要があります ([スピーカーゾーンの設定, 29 ページ](#))。

さらにカスタマイズするには、各ステレオのソースに一意の名前を付け、未使用のソースをオフにします ([一般設定, 28 ページ](#))。

1  > 設定の順に選択します。

2 名前を変更するデバイスを選択します。

3 デバイス名を選択し、オプションを選択します。

- リストから定義済みの名前を選択します。
- カスタム名を選択し、デバイスに一意の名前を入力します。

ホームゾーンの設定

ホームゾーンは、リモートコントロールでダイヤルを回したときにデフォルトで調整されるスピーカーゾーンです。

1  > 設定の順に選択します。

2 このステレオで使用するリモートコントロールの名前を選択します。

3 ホームゾーンを割り当てますを選択します。

4 ゾーンを選択します。

ソースを選択する

1 を選択します。

2 ダイヤルを回してソースを強調表示します。

注：デバイスがグループの一部である場合、ダイヤルを回してグループ内の他のデバイスのソースにアクセスします ([Fusion PartyBus ネットワーク, 23 ページ](#))。

ソースは、グループと共有できない場合、グレーで表示され、選択できません。

3 ダイヤルを押してソースを選択します。

オーディオコントロール

音量を調整する

このリモートコントロールを使用して、Fusion PartyBus ネットワークに接続されているステレオの任意のゾーンの音量を制御できます。

1 ダイヤルを回して、ステレオのホームゾーンの音量を調整します。

2 必要に応じて、ダイヤルを押してゾーンを切り替えます。

注：このステレオがグループの一部である場合は、グループ内のすべてのステレオの音量、または各ステレオの個々のゾーンの音量を調整できます (Fusion PartyBus ネットワーク, 23 ページ)。

接続したすべてのステレオをミュートする

このステレオまたは Fusion PartyBus ネットワークに接続されているすべてのステレオの音声をすばやくミュートできます (Fusion PartyBus ネットワーク, 23 ページ)。

1 任意のソースで、を押します。

ミュート記号が表示され、このステレオの音声が消えます。

注：ステレオがグループの一部である場合、グループ化されたすべてのステレオの音声が消えます。

2 ダイヤルを長押しして、システムのミュートを選択します。

接続しているすべてのステレオの音声が消えます。

3 ダイヤルを長押しして、システムのミュート解除を選択します。

接続したすべてのステレオで音声が復元します。

サブウーファーレベルを調整する

サブウーファーレベルはゾーンごとに調整できます。

1 ダイヤルを押し、接続しているサブウーファーがあるゾーンを選択します。

2 ダイヤルを長押しします。

ゾーンのサブレベル調整が表示されます。

3 サブウーファーレベルを調整し、ダイヤルを押して設定します。

トーンを調整する

1  > オーディオの順に選択します。

2 調整するゾーンを選択します。

3 ダイヤルを押して、トーンを選択します。

4 トーンレベルを調整し、ダイヤルを押して設定します。

ゾーンの大音量設定を無効にする

大きい設定は周波数応答を小音量で維持し、知覚されるラウドネスを大音量で増大します。この設定は、すべてのゾーンでデフォルトで有効になっています。

1  > オーディオの順に選択します。

2 調整するゾーンを選択します。

3 大きいを選択して、チェックボックスをオフにします。

補助デバイスのゲインを調整する

接続した補助デバイスのゲインを調整して、他のメディアソースと同様の音量レベルにすることができます。ゲインは1dB単位で調整できます。また、光オーディオ接続を使用してデジタルソースのゲインを調整することもできます。

- 1 補助ソースを選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。

- ・ ゲインを増やすには、▶▶を選択します。
- ・ ゲインを下げるには、◀◀を選択します。

注：ポータブルメディアプレーヤーをヘッドフォン出力で使用するときに最高の音質を得るには、ゲインを調整するのではなく、メディアプレーヤーの音量を調節することをお勧めします。

スピーカーゾーン

1つのエリアのスピーカーをグループ化して、スピーカーゾーンにすることができます。これにより、ゾーンの音声レベルを個別に制御できます。たとえば、キャビン内のオーディオの音量を下げ、デッキの音量を上げることができます。

バランス、音量制限、トーン、サブウーファー周波数、および各ゾーンの名前、その他のゾーン固有の設定を設定できます ([スピーカーゾーンの設定, 29 ページ](#))。

注：DSPで管理している場合、サブウーファーの周波数は調整できません。

DSP 設定

このステレオはデジタル信号処理 (DSP) 機能を備えています。あらかじめ構成された DSP 設定を Fusion スピーカーおよびアンプに選択して、オーディオ再生をそれぞれの設置場所で最適化することができます。

すべての DSP 設定は Fusion Audio リモートコントロールアプリ ([Fusion Audio ワイヤレスリモートコントロールアプリ, 36 ページ](#))を使用して構成します。

DSP 設定を構成する

DSP 設定を構成する前に、Fusion Audio リモートコントロールアプリをダウンロードして対応する Apple® または Android™ デバイスにインストールする必要があります ([Fusion Audio ワイヤレスリモートコントロールアプリ, 36 ページ](#))。

DSP 設定を構成して、設置したスピーカーやアンプ、および環境で各ゾーンのサウンドを最適化できます。

- 1 Apple または Android デバイスの設定メニューから、Bluetooth テクノロジーを使用してステレオに接続するか、ステレオと同じワイヤレスネットワークに接続します。

注：互換性のある Apple デバイスをお持ちの場合は、ステレオの USB ポートと Apple デバイスに接続された Lightning™ to USB 同期ケーブル (別売) を使用して、Fusion Audio アプリを使用して DSP 設定を構成できます。

- 2 Fusion Audio リモートコントロールアプリを対応の Apple または Android デバイスで開きます。
- 3 必要に応じて、構成するステレオを選択します。
- 4 を選択します。
- 5 必要に応じて、音楽タブを選択します。
- 6 ゾーンを選択します。
- 7 DSP 設定を選択します。
- 8 DSP 設定の構成が必要であれば、ゾーンに接続している Fusion スピーカーおよびアンプのモデルに応じて行います。
- 9 DSP 設定の送信を選択します。

注：ゾーンの DSP 設定または更新は、ボタンを選択して設定を送信するまでステレオに適用されません。

- 10 これらの手順をゾーンごとに繰り返します。

速度に基づく自動音量調整

お使いのステレオが、エンジン、チャートプロッター、GPS アンテナ、航行スピードセンサー、または風速センサーなど、速度情報を提供するデバイスで NMEA 2000® ネットワークに接続されている場合、選択した速度ソースに基づいて自動的に音量を調整するようにステレオを設定できます (速度に基づく自動音量調整を有効にする、30 ページ)。

たとえば、内蔵 GPS アンテナまたはスタンドアロン GPS アンテナを搭載したチャートプロッターがステレオと同じ NMEA 2000 ネットワーク上にあり、速度ソースを SOG に設定すると、速度が上がるにつれて音量が上がります。

注：速度に合わせて音量が上がるとき、実際の音量出力は変化しますが、音量レベルインジケータバーと数字は変化しません。

ステレオを NMEA 2000 ネットワークに接続する方法の詳細については、お使いのステレオのインストールガイドを参照してください。

メディアプレーヤー接続

⚠️ 警告

操船中のメディアプレーヤー画面の操作は最小限にとどめてください。注意が散漫になり、事故が発生して重傷や死亡事故につながるおそれがあります。

注記

メディアプレーヤーは、使用しないときは必ずステレオから切り離し、船内に置いたままにしないでください。これにより、極端な高温による損傷や盗難のリスクを減らすことができます。

ステレオは、スマートフォンやその他のモバイル機器など、さまざまなメディアプレーヤーに対応しています。互換性のあるメディアプレーヤーでサポートされている場合は、Bluetooth ワイヤレス接続を使用してステレオに接続できます。互換性のあるメディアプレーヤーでサポートされている場合は、USB A コネクタ付きケーブルを使用してステレオの USB ポートに接続できます。ステレオは、Apple 機能を使用して同じネットワークに接続された AirPlay® 対応デバイスからメディアを再生できます。

Bluetooth デバイスの再生

ステレオは最大で 8 台の Bluetooth メディアデバイスとペアリングできます。

接続されているリモコン、チャートプロッター、またはすべての Bluetooth デバイスのステレオのコントロールを使用して再生を制御できます。一部のデバイスでは、リモコン、チャートプロッター、またはステレオのメニューから音楽コレクションを参照できます。

メディアの参照をサポートしていない Bluetooth デバイスでは、曲やプレイリストをメディアデバイスで選択する必要があります。

曲の情報 (曲のタイトル、アーティスト名、トラック再生時間、ジャケットなど) が表示されるかどうかは、メディアプレーヤーの機能と音楽アプリケーションによって異なります。

対応する Bluetooth デバイスを接続する

対応する Bluetooth デバイスからメディアを、Bluetooth ワイヤレス接続を使用して再生できます。

音楽再生は Bluetooth デバイスのメディアアプリを使用したり、Fusion Audio リモートコントロールアプリを使用したりして制御できます ([Fusion Audio ワイヤレスリモートコントロールアプリ, 36 ページ](#))。

- 1 BLUETOOTH ソースを選択します。
- 2  > BLUETOOTH > コネクション > 検出可能の順に選択して、お使いの対応 Bluetooth デバイスがステレオを認識できるようにします。
ヒント：ステレオの※ボタンを押して、検出可能にすることもできます。
- 3 Bluetooth をご使用の対応 Bluetooth デバイスで有効にします。
- 4 対応する Bluetooth デバイスをステレオから 10 m (33 ft.) 内に置きます。
- 5 対応する Bluetooth デバイスで、Bluetooth デバイスを検索します。
- 6 対応する Bluetooth デバイスで、検出されたデバイスのリストからステレオを選択します。
注：ステレオが Bluetooth デバイスリストにデバイス名として表示されます (設定で変更されていない限り、デフォルト名は MS-WB670 です)。
- 7 対応する Bluetooth デバイスで、画面の指示に従って検出されたステレオとペアリングし、接続します。
ペアリング中に、対応 Bluetooth デバイスからステレオのコードを確認するよう求められる場合があります。ステレオにコードの表示はありませんが、このメッセージを Bluetooth デバイスで確認すると正しく接続されます。
- 8 対応する Bluetooth デバイスがすぐにステレオに接続されない場合は、手順 1~7 を繰り返します。
注：別の Bluetooth デバイスがステレオで音楽を再生している場合、新しいデバイスを接続しても再生が中断されることはありません。新しく追加したデバイスを使用する場合は、そのデバイスを選択する必要があります ([別の Bluetooth デバイスの選択, 9 ページ](#))。

検出可能設定は、2 分後に自動的に無効になります。

注：一部の Bluetooth デバイスでは、デバイス上で音量を調節するとステレオの音量レベルに影響します。

Bluetooth 範囲の情報

ステレオおよび Bluetooth ワイヤレスデバイスの通信距離は 10 m (33 ft.) です。最適なパフォーマンスが得られるように、Bluetooth ワイヤレスデバイスからステレオまでの障害のない見通し線が確保されている必要もあります。

別の Bluetooth デバイスの選択

複数の Bluetooth デバイスがステレオとペアリングされているときは、異なるデバイスを必要に応じて選択できます。ステレオは最大で 8 台の Bluetooth デバイスとペアリングできます。

- 1 BLUETOOTH ソースを選択した状態で、 > BLUETOOTH > コネクション > ペアリングされたデバイスの順に選択します。
- 2 Bluetooth デバイスを選択します。

Bluetooth ソースメニューと設定

BLUETOOTH ソースを選択した状態で、**≡ > BLUETOOTH** の順に選択します。

注：このメニューのオプションは、接続されているデバイスに応じて異なります。

コネクション > 検出可能: ステレオは Bluetooth デバイスが認識可能になります。この設定をオフにすると、Bluetooth デバイスをステレオにペアリングした後でオーディオが中断されるのを防ぐことができます。

コネクション > ペアリングされたデバイス: ステレオとペアリングされた Bluetooth デバイスのリストを表示します。デバイスが範囲内にある場合は、リストで選択してステレオに接続できます。

コネクション > デバイスを削除: Bluetooth デバイスをステレオから取り外します。この Bluetooth デバイスの音声を再び聞くには、デバイスを再度ペアリングする必要があります。

注：また、Bluetooth デバイスの再ペアリング時に接続の問題が発生しないように、お使いのデバイスのペアリングされたデバイスリストからステレオを削除する必要があります。

繰り返し: 現在の選択範囲に対して繰り返しモードを設定します (Apple デバイスのみ)。1 回繰り返しオプションを選択すると、現在の選択を繰り返すことができます。すべて繰り返しオプションを選択すると、選択したすべてのアイテムを繰り返すことができます。

シャッフル: フォルダ、アルバム、またはプレイリストのトラックをシャッフルします (Apple デバイスのみ)。

プレイリスト: デバイスにあるプレイリストを表示します (Apple デバイスのみ)。

アーティスト: デバイスにあるアーティストを表示します (Apple デバイスのみ)。

アーティスト: デバイスにあるアルバムを表示します (Apple デバイスのみ)。

ジャンル: デバイスにある音楽ジャンルを表示します (Apple デバイスのみ)。

曲: デバイスにある曲を表示します (Apple デバイスのみ)。

APPLE MUSIC RADIO: デバイスに Apple Music ラジオ局を表示します (Apple デバイスのみ)。

Bluetooth 自動接続を無効にする

デフォルトでは、ステレオは起動すると、最後に接続した Bluetooth デバイスに自動的に再接続します。この設定は無効にできます。

1 **≡ > 設定** の順に選択します。

2 ステレオの名前を選択します。

3 ソース > **BLUETOOTH > 自動接続** を選択します。

自動接続チェックボックスがオフの場合、ステレオは自動的には Bluetooth デバイスに再接続しようとしません。この機能が無効になっている場合は、手動で Bluetooth デバイスを選択して接続する必要があります ([別の Bluetooth デバイスの選択](#), 9 ページ)。

USB デバイスの再生

さまざまな USB メディアプレーヤー、USB フラッシュドライブ、スマートフォンをステレオに接続できます。USB ソースへのアクセス方法は、接続されているメディアプレーヤーまたはスマートフォンのタイプによって異なります。

メディアプレーヤー	ソースの選定
Android デバイス	MTP
Apple デバイス	iPod
USB フラッシュドライブ	USB
MP3 メディアプレーヤー (大容量記憶装置として)	USB 注 : MP3 メディアプレーヤーが USB 接続時に大容量記憶をサポートしていない場合は、補助デバイスとしてステレオに接続しなければなりません (補助デバイスを接続する , 14 ページ) 。

すべての USB デバイスでステレオコントロールを使用して再生を操作できます。また、一部のデバイスでは、ステレオのメニューから音楽コレクションを参照できます。メディアの参照をサポートしていない USB デバイスでは、曲やプレイリストをメディアデバイスで選択する必要があります。

曲の情報 (曲のタイトル、アーティスト名、トラック再生時間など) が表示されるかどうかは、メディアプレーヤーの機能と音楽アプリケーションによって異なります。

USB デバイスの互換性

USB フラッシュドライブを使用するか、メディアプレーヤーに付属している USB ケーブルを使用してメディアプレーヤーまたはモバイルデバイスを USB ポートに接続できます。

ステレオは iAP2 Apple デバイスと互換性があります。

ステレオは、MTP モードをサポートしている Android デバイスに対応しています。

ステレオは、メディアプレーヤーや他の USB 大容量記憶装置 (USB フラッシュドライブを含む) に対応しています。USB ドライブ上の音楽は以下の条件を満たす必要があります。

- 音楽ファイルの形式は MP3 ファイル、AAC (.m4a) ファイル、または FLAC ファイルでなければなりません。
- ポータブルハードディスクを接続する場合は、外部の電源に接続する必要があります。このステレオの USB ポートは、ポータブルハードディスクに電力を供給できません。
- USB 大容量記憶装置は、次のいずれかのシステムを使用してフォーマットする必要があります。
 - Microsoft® : NTFS、VFAT、FAT¹、MSDOS
 - Apple : HFS、HFSPLUS
 - Linux : EXT2、EXT3、EX4

USB デバイスを接続する

USB デバイスをステレオの USB ポートに接続できます。

1 ステレオの背面にある USB ポートの位置を確認します。

2 USB デバイスを USB ポートに接続します。

¹ FAT には、ほとんどのタイプの FAT ファイルシステムが含まれています (exFAT を除く) 。

USB フラッシュドライブ、メディアプレーヤーで音楽再生を制御する

1 対応する USB フラッシュドライブまたはメディアプレーヤーをステレオに接続します。

2 USB ソースを選択します。

3  > USB の順に選択します。

4 USB デバイスの名前を選択します。

5 デバイスで音楽ファイルを参照し、再生を開始します。

リモコン、チャートプロッター、またはステレオコントロールを使用すると、トラックを選択、再生、一時停止、スキップできます。

ヒント：USB メディアプレーヤーに画面およびコントロールがある場合は、USB メディアプレーヤーでコントロールを使用して再生を操作できます。

接続した Android デバイスで音楽再生を制御する

USB ケーブルを使用して Android デバイスをステレオに接続し、Android デバイスに保存されているメディアファイルを再生できます。Android デバイス上のアプリからメディアを再生するには、代わりに Bluetooth テクノロジーを使用してデバイスを接続する必要があります ([Bluetooth デバイスの再生](#), 8 ページ)。

1 適切な USB ケーブルを使用して、対応する Android デバイスをステレオに接続します。

2 必要に応じて、Android デバイスで USB ファイル転送または MTP を有効にします。

詳細については、Android デバイスについて利用できるドキュメントを参照してください。

3 ステレオで MTP ソースを選択します。

4  > MTP の順に選択します。

5 Android デバイスで音楽ファイルを参照し、再生を開始します。

ステレオコントロールを使用してトラックの選択、再生、一時停止、スキップができます。

接続した Apple デバイスで音楽再生を制御する

1 USB を使用して、対応する iAP2 Apple デバイスをステレオに接続します。

2 ステレオで iPod ソースを選択します。

3 接続した Apple デバイスで音楽アプリケーションを起動し、再生を開始します。

Apple デバイスで音楽アプリケーションを使用するか、ステレオコントロールを使用して、音楽ライブラリを参照、またはトラックを選択、再生、一時停止、スキップできます。

USB ソース設定

USB デバイスを接続し、USB ソースを選択した状態で、 を押して USB ソースタイプを選択し、適切なデバイスを選択します。

注：このメニューを使用して、デバイス上のファイルを参照できます。このメニューのオプションは、接続されているデバイスに応じて異なります。

繰り返し：USB または MTP ソースの場合は、選択すると、リストの最後のトラックが再生された後、最初からトラックの再生が開始されます。

iPod ソースの場合は、1 回繰り返しを選択すると、現在のトラックが繰り返され、すべて繰り返しを選択すると、フォルダ、アルバム、またはプレイリストの最後のトラックが再生された後、最初からトラックの再生が開始されます。

シャッフル：USB または MTP ソースの場合は、選択すると、リストのトラックがランダムに再生されます。

iPod ソースの場合は、フォルダ、アルバム、またはプレイリストのトラックがランダムに再生されます。

ラジオ

AM または FM ラジオを聞くには、適切な船舶用 AM / FM アンテナをステレオに正しく接続し、放送局の受信範囲内にいる必要があります。AM/FM アンテナの接続方法については、ステレオ設置ガイドを参照してください。

SiriusXM®ラジオを聞くには、適切な機器とサブスクリプションが必要です (SiriusXM 衛星ラジオ, 15 ページ)。SiriusXM Connect Vehicle Tuner の接続方法については、ステレオ設置ガイドを参照してください。

DAB 放送局を聞くには、適切な機器が必要です (DAB の再生, 21 ページ)。DAB アダプタとアンテナの接続手順については、アダプタとアンテナに付属しているインストールガイドを参照してください。

チューナーの地域を設定する

AM / FM 局を正しく受信するには、所在している地域を選択する必要があります。

対応する SiriusXM チューナーおよびアンテナに接続しており、サブスクリプションがある場合 (米国のみ)、SiriusXM 局を正しく受信するには、自分の現在の地域を選択する必要があります。

注：SiriusXM サービスを利用できない地域もあります。

DAB 放送局を正しく受信するには、所在している地域を選択する必要があります。

注：DAB 放送局を受信するには、対応する DAB モジュールとアンテナ (別売り) を接続する必要があります。

DAB 局は、一部の地域ではご利用になれません。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ステレオの名前を選択します。
- 3 チューナーの地域を選択します。
- 4 所在している地域を選択します。

ラジオ局の変更

1 適切なソース (FM) を選択します。

2  を繰り返し選択してチューニングモードを移動し、オプションを選択します。

- ・ 次に使用可能な局をスキャンして停止するには、自動を選択します。
- ・ 手動で局を選択するには、手動を選択します。
- ・ 保存した局のプリセットを選択するには、プリセットを選択します。

3  または  を選択して、局にチューニングします。

手動 チューニングモードでは、 または  を押し続けると、局をすばやく移動できます。

Apple AirPlay

Apple を使用した AirPlay デバイスの接続

- 1 Apple デバイスの設定メニューから、互換性のある Fusion ステレオと同じワイヤレスネットワークに接続します。

注：一部の Apple デバイスは、有線のイーサネット接続を使用してネットワークに接続できます（該当する場合）。詳細については、Apple のウェブサイトを参照してください。

- 2 Apple デバイスで、ステレオにストリーミングする音楽アプリを開きます。

- 3 音楽アプリまたはプログラムから、 または  を選択し、ステレオの名前を選択します。

- 4 必要に応じて、アプリで音楽を再生します。

ステレオが自動的に AirPlay ソースに変更され、Apple デバイスからオーディオが再生されます。

注：Apple デバイスで、AirPlay 2 ソフトウェアを使用している場合、同じネットワーク上で複数のステレオに接続できます。

注：Fusion PartyBus ネットワークを使用して、AirPlay ソースをネットワーク上の他のステレオにストリーミングすることはできません（[Fusion PartyBus ネットワーク, 23 ページ](#)）。AirPlay 2 ソフトウェアを使用すると、ネットワーク上の複数のステレオでコンテンツを再生できますが、ステレオはグループ化できません。

注：一部の AirPlay デバイスでは、デバイス上で音量を調節するとステレオの音量レベルに影響します。

AirPlay パスワードを設定する

AirPlay 機能を使用してステレオに接続するときに、ユーザーが入力する必要のあるパスワードを設定できます。

- 1  設定の順に選択します。

- 2 ステレオの名前を選択します。

- 3 ソース > AirPlay > AirPlay のパスワードの順に選択します。

- 4 パスワードを入力します。

注：AirPlay パスワードでは大文字と小文字が区別されます。

AirPlay 機能を使用してこのステレオに接続する場合、ユーザーは Apple デバイスでパスワードを入力する必要があります。

補助デバイスを接続する

さまざまな補助デバイスをステレオに接続できます。これらのデバイスには RCA コネクタ、ライン出力、またはヘッドフォン出力ジャックがあります。

- 1 配線ハーネスの補助コネクタを探します。

- 2 必要に応じて、RCA - 3.5mm アダプターケーブルを補助デバイスに接続します。

- 3 補助デバイスを配線ハーネスの AUX IN RCA コネクタに接続します。

- 4 Aux ソースを選択します。

光オーディオ接続

光オーディオケーブルを使用して、光オーディオ出力のあるデバイスをステレオに接続できます。テレビ、DVD プレーヤー、CD プレーヤーおよびその他のデバイスは、デジタル光オーディオ出力が付属している場合があります。

このステレオは PCM オーディオのみをサポートしています。PCM オーディオを出力するには、デバイスの設定変更が必要になる場合があります。

注：Fusion PartyBus ネットワーク上でのストリーミングオーディオでは若干の遅延が生じるため、テレビや DVD プレーヤーからのストリーミングコンテンツは理想的でない場合があります。必要に応じて、設定で光学メディアをストリーミングソースとして無効にするか、グループ機能を無効にすることができます（[ソースの設定, 32 ページ](#)）。

SiriusXM 衛星ラジオ

SiriusXM は、すばらしいリスニングコンテンツをすべて 1 つの場所で楽しめるラジオ局です。140 以上のチャンネルをお楽しみください。CM のない音楽の他、スポーツ、ニュース、トーク、コメディー、エンターテイメントなどのチャンネルがあります。衛星ラジオの世界へようこそ。SiriusXM 車両チューナーとサブスクリプションが必要です。詳細については、www.siriusxm.com をご覧ください。

SiriusXM ソースのチューナーの地域を設定する

衛星ラジオを聞く前に、SiriusXM ステレオが USA のチューナー領域を使用するように設定する必要があります。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ステレオの名前を選択します。
- 3 チューナーの地域 > USA の順に選択します。

SiriusXM ラジオ ID を確認する

SiriusXM サブスクリプションを有効にするには、SiriusXM 接続チューナーのラジオ ID が必要です。SiriusXM ラジオ ID は、SiriusXM 接続チューナーの背面またはそのパッケージにあるか、ステレオをチャンネル 0 にチューニングすることで確認できます。

SiriusXM ソースを選択した状態で、 > SiriusXM > チャンネル > 全チャンネル > 000 RADIO ID の順に選択します。

SiriusXM ラジオ ID には I、O、S、F の文字は含まれません。

SiriusXM サブスクリプションの有効化

- 1 選択した SiriusXM ソースで、チャンネル 1 にチューニングします。
プレビューチャンネルを聴取できる必要があります。聴取できない場合は、SiriusXM 接続チューナーやアンテナの設置および接続を確認し、もう一度試してください。
- 2 チャンネル 0 にチューニングして、ラジオ ID を確認します。
- 3 米国で購読するには、SiriusXM リスナーサポートに電話 ((866) 635-2349) で問い合わせるか、www.siriusxm.com/activatenow にアクセスします。カナダで購読するには、SiriusXM に電話 ((877) 438-9677) で問い合わせるか、www.siriusxm.ca/activatexm にアクセスします。
- 4 ラジオ ID を入力します。
有効化処理には通常 10 ~ 15 分かかりますが、最大で 1 時間かかることがあります。SiriusXM 接続チューナーで有効化メッセージを受信するには、チューナーの電源をオンにし、SiriusXM 信号を受信する必要があります。
- 5 1 時間以内にサービスが有効化されない場合は、<http://care.siriusxm.com/refresh> にアクセスするか、SiriusXM リスナーサポートに電話 (1-866-635-2349) でお問い合わせください。

カテゴリーを選択する

カテゴリー調整方法を使用しているときに表示されるチャンネルのカテゴリーを制御できます。

- 1 SiriusXM ソースを選択した状態で、 > SiriusXM > カテゴリーの順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。

再生モードを使用する

再生モードを使用して SiriusXM ブロードキャストの再生を制御できます。

注：保存されているプリセットチャンネルを再生しているとき再生モードが自動的に有効になります。

1 必要に応じて▶▷を長押しして再生モードを有効にします。

進捗バーが画面の下部に表示されます。

2 次の中からオプションを選択します。

- ▶▷を押すと、再生が一時停止 / 再開します。
- ◀◀を押すとトラックが前に戻り、▶▷を押すとトラックが先に進みます。
注：進捗バーの最後まで早送りまたはスキップすると、ステレオは再生モードを自動的に終了します。
- ◀◀を長押しするとトラックが巻き戻しされ、▶▷を長押しするとトラックが早送りされます。
- ▶▷を押し続けると、再生モードが終了します。

アラート

△ 警告

操船中はステレオやメディアプレーヤーの操作を最小限にしてください。注意が散漫になり、事故が発生して重傷や死亡事故につながるおそれがあります。

注：アーティスト、曲、ゲームアラートの機能は、SXM300 チューナー（別売）に対応しています。他のチューナーも対応していますが、機能が制限される場合があります。お持ちの SiriusXM チューナーに付属のユーザーマニュアルをご覧になり、そのチューナーモジュールで使用できる機能について確認してください。

アーティストまたは曲のアラートを追加する

アーティストや曲のアラートを設定して、特定の曲や特定のアーティストの曲がどこかの音楽チャンネルで流れ始めたらすぐにそのチャンネルにチューニングできるようにします。

1 特定の曲や特定のアーティストの曲が流れている間に、≡> SiriusXM > アラートを追加 > アーティスト / 曲の保存の順に選択します。

2 曲またはアーティストを選択します。

ゲームアラートのチームを追加する

スポーツチームのアラートを設定して、保存されたチームが出場するゲームがいずれかのスポーツチャンネルで始まるとき、そのチャンネルにすばやくチューニングできるようになります。

注：ゲームアラートは SportsFlash™アラートとは異なります。ゲームアラートは、ゲームの開始を知らせてくれます。それに対して SportsFlash アラートは、ゲーム中にエキサイティングなプレイが起きると知らせてくれます。

1 ≡> SiriusXM > アラートを追加 > ゲームからチームへのアラートの順に選択します。

2 スポーツリーグを選択します。

3 チームを選択してチェックボックスをオンにし、ゲームアラートを追加します。

4 ゲームアラートのリストに追加する各チームに対して、手順 2 と 3 を繰り返します。

チームをライブゲームから追加する

ゲームを聞いている間に、プレイ中のチームをゲームアラートチームのリストにすばやく追加できます。

1 チャンネルでゲームを聞いている間に、≡> SiriusXM > アラートを追加 > チームの保存の順に選択します。
現在のゲームでプレイしているチームのリストが表示されます。

2 ゲームアラートチームのリストに追加するチームを選択します。

アクティブアラートを表示する

アクティブなアーティスト、曲、ゲームアラートを確認できます。

1 ≡> SiriusXM > アクティブアラートの順に選択します。

2 カテゴリーを選択します。

アラートを管理する

自分で保存したアラートを管理して、受け取りたいアラートを選択できます。保存したアラートのうち必要でないものを削除できます。

- 1  > SiriusXM > SXM SETTINGS > アラート管理の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・保存したアラートを曲だけ、アーティストだけ、またはゲームだけで有効にするには、**タイプごとに有効化**を選択し、タイプを選択します。
 - ・保存したアラートを特定のアーティストだけで有効にするには、**アーティストを有効にする**を選択して、アーティストを選択します。
 - ・保存したアラートを特定の曲だけで有効にするには、**曲を有効にする**を選択して、曲を選択します。
 - ・保存したゲームアラートを特定のチームで有効にするには、**チームの有効化**を選択してチームを選択します。
 - ・保存した曲、アーティスト、またはチームのすべてのアラートを削除するには、**タイプによる削除**を選択し、タイプを選択します。
 - ・保存した特定のアーティストのアラートを削除するには、**アーティストの削除**を選択して、アーティストを選択します。
 - ・保存した特定の曲のアラートを削除するには、**曲の削除**を選択して、曲を選択します。
 - ・保存した特定のチームのアラートを削除するには、**チームの削除**を選択して、チームを選択します。

TuneMix™機能

注：TuneMix 機能は SXV300 チューナー（別売）が対応しています。他のチューナーも対応していますが、機能が制限される場合があります。お持ちの SiriusXM チューナーに付属のユーザーマニュアルをご覧になり、そのチューナーモジュールで使用できる機能について確認してください。

TuneMix コレクションを開始および停止する

TuneMix コレクションの再生を開始する前に、コレクションを作成する必要があります ([TuneMix コレクションを作成およびカスタマイズする, 17 ページ](#))。

TuneMix の機能を使用すると、お気に入りの音楽チャンネルをミックスしてカスタムメイドのリスニング体験をつくることができます。

- 1  > SiriusXM > TUNEMIX の順に選択します。
- 2 TuneMix コレクションを選択します。
ステレオは TuneMix コレクションの再生を開始します。
- 3 TuneMix コレクションの再生を停止するには、 > チャンネルの順に選択し、チャンネルを選択します。
ステレオは TuneMix コレクションの再生を停止して、選択したチャンネルの再生を開始します。

TuneMix コレクションを作成およびカスタマイズする

独自の TuneMix コレクションをステレオで 10 個まで作成できます。

注：TuneMix コレクションには、お気に入りの SiriusXM 音楽チャンネルが 2 つ以上含まれている必要があります。

- 1  > SiriusXM > SXM SETTINGS > Tunemix のセットアップの順に選択します。
- 2 TuneMix コレクションを選択します。
- 3 チャンネルを選択してチェックボックスをオンにし、TuneMix コレクションに追加します。
- 4 TuneMix コレクションのカスタマイズが完了したら、 を選択します。
- 5 カスタマイズする TuneMix コレクションごとに手順 2~4 を繰り返します。

SportsFlash 機能

⚠ 警告

操船中はステレオやメディアプレーヤーの操作を最小限にしてください。注意が散漫になり、事故が発生して重傷や死亡事故につながるおそれがあります。

SportsFlash 機能は、ライブゲーム中にお気に入りチームのキープレイを知らせます。エキサイティングなプレイが出ると、SportsFlash アラートが表示され、その放送にチューニングしてプレイを聞くことができます。SportsFlash アラートが終了したら、前のチャンネルに戻るかそのゲームにチューニングしたままにするかを選べます。

注：SportsFlash アラートを受信するには、アラートに含めたいスポーツリーグの実況スポーツチャンネルがサブスクリプションパッケージに含まれている必要があります。

追加した SportsFlash アラートを有効、無効、または削除できます（アラートを管理する、17 ページ）。

注：SportsFlash はゲームアラートとは異なります。SportsFlash アラートは、ゲーム中にエキサイティングなプレイが起きると知らせてくれます。それに対して、ゲームアラートはゲームの開始を知らせてくれます。

注：SportsFlash 機能は SXV300 チューナー（別売）が対応しています。他のチューナーも対応していますが、機能が制限される場合があります。お持ちの SiriusXM チューナーに付属のユーザーマニュアルをご覧になり、そのチューナーモジュールで使用できる機能について確認してください。

SportsFlash アラートを受信するチームを追加する

- 1  > SiriusXM > SPORTSFLASH > チームの選択の順に選択します。
- 2 スポーツリーグを選択します。
- 3 チームを選択してチェックボックスをオンにし、SportsFlash アラートを追加します。
- 4 SportsFlash アラートのリストに追加する各チームに対して、手順 2 と 3 を繰り返します。

SportsFlash 優先チームを変更する

SportsFlash アラートを設定した複数のチームが同時にプレイをしている場合は、好きなチームから先に SportsFlash アラートを聞けるようチーム優先度を調整できます。

- 1  > SiriusXM > SPORTSFLASH > 優先チームの順に選択します。
選択した SportsFlash チームのリストが優先度順に表示されます。
- 2 チームを選択して、リスト内の 1 つ上の優先レベルに移動します。
- 3 優先度リストが希望どおりの順位になるまで、順番を変えたいチームごとに前の手順を繰り返します。

TuneStart™機能を有効にする

TuneStart 機能を有効にしてプリセットチャンネルにチューニングすると、現在の曲を、ライブ放送で現在の位置から開始するのではなく、曲の最初から開始します。

注：TuneStart 機能は、プリセットチャンネルにチューニングしているときだけ使用できます。TuneStart 機能は SXV300 チューナー（別売）が対応しています。他のチューナーも対応していますが、機能が制限される場合があります。お持ちの SiriusXM チューナーに付属のユーザーマニュアルをご覧になり、そのチューナーモジュールで使用できる機能について確認してください。

必要に応じて、 > SiriusXM > SXM SETTINGS > TUNESTART の順に選択します。

TuneStart 機能により曲が最初から開始すると、進捗バーが表示されて、再生モードと同じコントロールを使用してトラックを操作できます（再生モードを使用する、16 ページ）。

ペアレンタルコントロール

ペアレンタルコントロール機能を使用すると、成人向けコンテンツを含むチャンネルなど、特定の SiriusXM チャンネルへのアクセスを制限できます。ペアレンタルコントロール機能が有効になっている場合、ロックされたチャンネルにチューニングするには、パスコードを入力する必要があります。4 衔のパスコードを変更することもできます。

ペアレンタルコントロールをロック解除する

ペアレンタルコントロールのロックを解除して、ロックされたチャンネルにアクセスできます。

1 SiriusXM ソースを選択した状態で、☰ > SiriusXM > ペアレンタルの順に選択します。

2 ロック解除をクリックします。

3 パスコードを入力します。

ヒント：初期設定のパスコードは 0000 です。

ペアレンタルコントロールは、車両をオフにするか、再度ロックするまでロック解除されたままになります。

チャンネルをロックする

1 SiriusXM ソースを選択した状態で、☰ > SiriusXM > ペアレンタルの順に選択します。

2 ロック解除チェックボックスをオンにします。

3 パスコードを入力します。

ヒント：初期設定のパスコードは 0000 です。

4 ロック / ロック解除を選択します。

利用可能なチャンネルのリストが表示されます。

5 ロックする 1 つまたは複数のチャンネルを選択し、☰ を選択します。

6 ロック解除チェックボックスをオフにして、ペアレンタルコントロールをロックします。

ペアレンタルコントロールがロックされている間は、ロックされたチャンネルにアクセスできません。ロックされたチャンネルにチューニングするには、ペアレンタルコントロールのロックを解除する必要があります。

ロックされているすべてのチャンネルをクリアする

1 SiriusXM ソースを選択した状態で、☰ > SiriusXM > ペアレンタル > ロック解除の順に選択します。

2 パスコードを入力します。

3 ☰ > SiriusXM > ペアレンタル > ロック状態を全解除の順に選択します。

ペアレンタルコントロールのパスコードを変更する

1 SiriusXM ソースを選択した状態で、☰ > SiriusXM > ペアレンタル > ロック解除の順に選択します。

2 パスコードを入力します。

3 ☰ > SiriusXM > ペアレンタル > PIN の変更の順に選択します。

4 画面に表示される手順に従います。

SiriusXM のトラブルシューティング

注意報	説明	解決策
アンテナの確認	ラジオが SiriusXM アンテナの不具合を検出しました。アンテナケーブルが外れているか損傷している可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> アンテナケーブルが SiriusXM Connect Vehicle Tuner に接続していることを確認します。 アンテナケーブルに損傷やねじれがないか点検します。ケーブルが損傷している場合は、アンテナを交換します。SiriusXM 製品は、各地域のカーオーディオ販売店または www.shop.siriusxm.com で購入できます。
チューナーのチェック	ステレオが SiriusXM Connect Vehicle Tuner と通信できません。チューナーは接続していないか損傷している可能性があります。	SiriusXM Connect Vehicle Tuner のケーブルがステレオにしっかりと接続されていることを確認します。
電波信号なし	SiriusXM Connect Vehicle Tuner が SiriusXM 衛星信号を受信できません。	<ul style="list-style-type: none"> SiriusXM アンテナが屋外にあり、上空が開けていることを確認します。 SiriusXM アンテナがしっかりと取り付けられていることを確認します。 SiriusXM アンテナの上または横にある障害物を取り除きます。 ケーブルアンテナに損傷やねじれがないか調べます。ケーブルが損傷している場合は、アンテナを交換します。SiriusXM 製品は、各地域のカーオーディオ販売店または www.shop.siriusxm.com で購入できます。 アンテナ取り付けの詳細については、SiriusXM Connect Vehicle Tuner の設置ガイドを参照してください。
サブスクリプションが更新されました	ラジオが SiriusXM サブスクリプションステータスの変更を検出しました。	<ul style="list-style-type: none"> 任意のボタンを選択してメッセージをクリアします。 サブスクリプションに関するご質問は、www.siriusxm.com にアクセスするか、866-635-2349 にお問い合わせください。
チャンネルは利用できません	ご希望のチャンネルは有効な SiriusXM チャンネルでないか、お聞きになっていたチャンネルはご利用になれなくなりました。このメッセージは、新しい SiriusXM Connect Vehicle Tuner を初めて接続したときに短時間表示されることがあります。	SiriusXM チャンネルのラインナップの詳細は、 www.siriusxm.com をご覧ください。
チャンネルを契約していません	ご希望のチャンネルは SiriusXM サブスクリプションパッケージに含まれていないか、お聞きになっていたチャンネルは SiriusXM サブスクリプションパッケージに含まれなくなりました。	サブスクリプションパッケージの詳細やチャンネルのサブスクリプションについては、 www.siriusxm.com にアクセスするか、866-635-2349 にお問い合わせください。
チャンネルがロックされている	ご希望のチャンネルはペアレンタルコントロール機能によってロックされています。	チャンネルのロックを解除するには、マニュアルのペアレンタルコントロールのセクションを参照してください。

SiriusXM データを消去する

入力したすべての SiriusXM ユーザー情報（お気に入りのチームやアラートなど）をクリアできます。

設定メニューの工場出荷時の設定にリセットオプションを使用して、ステレオをリセットします（[更新オプション, 35 ページ](#)）。

注：工場出荷時の設定に戻すと、ステレオ内のすべてのデータ（AM および FM のプリセット、ゾーン設定など）がリセットされ、さらにすべての SiriusXM ユーザー情報が消去されます。

DAB の再生

MS-DAB100A モジュールとアンテナを Apollo WB670 ステレオに接続すると、DAB 放送局を選局して再生できます。DAB アダプタとアンテナの接続手順については、アダプタとアンテナに付属しているインストールガイドを参照してください。

DAB 放送は、一部の地域ではご利用になれません。ステレオを対応地域に設定していない場合、DAB ソースはご利用になれません。

DAB ソースにアクセスできない場合、または DAB 放送局が正しく再生されない場合は、トラブルシューティングのセクションを参照してください。（[ステレオは DAB 放送局を受信しません, 44 ページ](#)）

チューナーの地域を設定する

DAB 放送局を正しく受信するには、所在している地域を選択する必要があります。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ステレオの名前を選択します。
- 3 チューナーの地域を選択します。
- 4 所在している地域を選択します。

DAB 放送局のスキャン

DAB 放送局をスキャンするには、互換性のある DAB モジュールとアンテナ（別売）をステレオに接続する必要があります。

注：DAB 信号は一部の国でのみ放送されているため、チューナーの地域を DAB 信号が放送されている場所に設定する必要があります。

- 1 DAB ソースを選択します。
- 2  を長押しして、利用できる DAB 放送局をスキャンします。

スキャンが完了すると、検出された最初のアンサンブルの 1 つ目の放送局の再生が開始されます。

注：最初のスキャンの完了後に、再度  を長押しして DAB 放送局を再スキャンできます。再スキャンが完了すると、再スキャンの開始時に聴いていたアンサンブルの最初の放送局の再生が開始されます。

DAB 放送局の変更

- 1 DAB ソースを選択します。
 - 2 必要に応じて、 を長押しして、現地の DAB 放送局をスキャンします。
 - 3  または  を選択して放送局を変更します。
- 現在のアンサンブルの最後に到達したら、次のアンサンブルで利用できる 1 つ目の放送局に自動的に変更されます。
- ヒント： または  を長押しすると、アンサンブルを変更できます。

DAB 放送局をリストから選択する

- 1 DAB ソースを選択します。
- 2 必要に応じて、 を長押しして、現地の DAB 放送局をスキャンします。
- 3  > DAB > 参照 > 放送局の順に選択します。
- 4 リストから放送局を選択します。

DAB 放送局をカテゴリから選択する

- 1 DAB ソースを選択します。
- 2 必要に応じて、▶▷を長押しして、現地の DAB 放送局をスキャンします。
- 3 ▶▷ > DAB > 参照 > カテゴリーの順に選択します。
- 4 リストからカテゴリを選択します。
- 5 リストから放送局を選択します。

プリセット

お気に入りの AM 放送局および FM 放送局をプリセットとして保存して、簡単にアクセスできるようにすることができます。

オプションの SiriusXM チューナーとアンテナが接続されている場合は、お気に入りの SiriusXM チャンネルを保存できます。

ステレオが適切な DAB 機器に接続されており、適切なチューナー地域に設定されている場合は、お気に入りの DAB 放送局を保存できます。 (DAB の再生, 21 ページ)

放送局またはチャンネルをプリセットとして保存する

- 1 該当するソースを選択した状態で、ステレオを放送局またはチャンネルにチューニングします。
- 2 ダイヤルを長押しして、□を選択します。
ヒント: AM、FM、または SiriusXM ソースの場合は、▶▷を長押しして現在の放送局またはチャンネルをプリセットとして保存します。
- ヒント: ▶▷、ソース名、プリセット > 現在値の保存の順に選択して、現在の放送局またはチャンネルをプリセットとして保存することもできます。

プリセットをリストから選択する

- 1 該当するソースを選択して、ダイヤルを長押しします。
ヒント: ▶▷、ソースの名前、プリセット > プリセットの表示の順に選択して、プリセットのリストを表示することもできます。
- 2 プリセットを選択します。

プリセットを削除する

- 1 該当するソースを選択して、ダイヤルを長押しします。
- 2 □を選択します。
- 3 削除する各プリセット放送局またはチャンネルを選択します。
- 4 プリセットの削除が完了したら、□を選択します。
ヒント: ▶▷、ソースの名前、プリセット > プリセットを削除またはすべてのプリセットを削除の順に選択して、プリセット放送局またはチャンネルを削除することもできます。
- 5 ダイヤルを押して画面を終了します。

Fusion PartyBus ネットワーク

Fusion PartyBus ネットワーク機能を使用すると、有線接続またはワイヤレス接続を組み合わせて、ネットワーク上の互換性のある複数のステレオを接続できます。

注：Fusion ステレオを Garmin BlueNet™ ネットワークまたは Garmin® Marine Network に接続した場合は、Garmin および Fusion デバイスのみの使用に制限されます。このステレオでは、サードパーティー製のルーター、ストレージデバイス、またはその他のネットワーク製品を直接使用できない場合があります。

ヒント：ステレオが Garmin BlueNet ネットワークまたは Garmin Marine Network に接続されている場合、接続されている Garmin チャートプロッターのワイヤレスアクセスポイントにモバイルデバイスを接続し、Fusion Audio アプリを使用してステレオを制御できます。

Apollo RA770 ステレオなどの互換性のあるステレオを、Fusion PartyBus ネットワークに接続された他の互換性のあるステレオとグループ化できます。グループ化されたステレオは、グループ内のすべてのステレオで利用可能なソースを共有し、メディア再生を制御できます。これにより、船舶全体でオーディオ体験を同期することができます。ネットワーク上の互換性のあるステレオまたはリモートコントロールから、必要に応じてグループをすばやく作成、編集、および分割できます。

グループ化されているかどうかにかかわらず、互換性のあるステレオおよびリモートコントロールを使用して、ネットワーク上の任意のステレオで使用可能なスピーカーゾーンの音量を調整できます。

Fusion PartyBus ネットワークを構築するときは、ステレオに付属のインストール手順を参照してください。

グループの作成

グループを作成する前に、互換性のある複数のステレオを Fusion PartyBus ネットワークに接続する必要があります。ネットワークのインストールと設定の詳細については、ステレオに付属のインストールガイドを参照してください。

注：ステレオをグループで使用する場合、いくつかの制限や他の注意事項があります。詳細については、「[グループ化されたステレオソースに関する注意事項, 24 ページ](#)」を参照してください。

1  > グループの順に選択します。

ヒント：どの画面でも  を長押しして、グループメニューを開くことができます。

2 グループ内のプライマリステレオにするステレオの名前を選択します。

3 グループに追加するステレオを選択します。

4 完了を選択します。

ソース画面から、Apollo SRX400 ステレオ、または Fusion PartyBus ネットワーク上の使用が有効になっていないソースなど、ゾーンステレオを除く、グループ内の任意のステレオからのソースを選択できます ([一般設定, 28 ページ](#))。

グループの編集

1  > グループの順に選択します。

2 グループを選択します。

3 グループに追加するステレオ、またはグループから削除するステレオを選択します。

4 完了を選択します。

グループから退出する

Fusion PartyBus グループを退出して、ステレオでローカルソースを再生できます。

1  > グループの順に選択します。

2 退出するグループを選択します。

3 グループから削除するステレオを選択します。

4 完了を選択します。

グループ化されたステレオ機能

ステレオのグループを作成すると、グループ内のすべてのステレオで、追加の機能とオプションが使用可能になります。

- ・ グループを作成すると、グループ内のすべてのステレオで、1つの同期された表示が共有されます。
- ・ グループ内の任意のステレオからソースを選択でき（ただし、いくつかの制限事項があります（[グループ化されたステレオソースに関する注意事項](#), 24 ページ）、ソースはグループ内のすべてのステレオで同時に再生されます（[ソースを選択する](#), 5 ページ）。
- ・ グループ内の任意のステレオで再生の操作（トラックの一時停止やスキップなど）を行うことができ、その操作はグループ内のすべてのステレオに適用されます。
- ・ グループ内の任意のステレオで、任意のゾーンの音量を調整できます。

ヒント：音量を調整するときにすべてを選択すると、グループ内のすべてのステレオの音量を同時に調整できます。

グループ化されたステレオソースに関する注意事項

ネットワーク上で再生するソースを選択する場合は、次の注意事項を確認する必要があります。

- ・ Apollo SRX400 などのゾーンステレオは、グループを作成または結合して、他のステレオからのソースを制御および再生できますが、そのソースをグループと共有することはできません。
- ・ グループ化されたステレオと AirPlay ソースを共有することはできません。AirPlay 2 ソフトウェアを使用すると、ネットワーク上の複数のステレオでコンテンツを再生できますが、ステレオはグループ化できません（[Apple を使用した AirPlay デバイスの接続](#), 14 ページ）。
- ・ ほとんどのソースで共有を無効にするには、ソースのグループが有効設定を変更します。無効にすると、グループ化されたステレオからのソースを選択できなくなります（[一般設定](#), 28 ページ）。
- ・ データネットワーク経由でオーディオソースをストリーミングする場合、同期されたオーディオにわずかな遅延が発生します。この遅延は、外部オーディオソースを使用している場合にも顕著になる場合があります。
 - ステレオと光出力接続されたテレビを使用しており、テレビのスピーカーを使用している場合、テレビのスピーカーからのオーディオとグループ化されたステレオでストリーミングされた光オーディオの間に遅延が発生します。
 - ラジオ局を同期し、ネットワーク接続されていないステレオで同じラジオ局を選局すると、ネットワーク接続されていないステレオからのオーディオと、グループ化されたステレオでストリーミングされたラジオ局からのオーディオの間に遅延が発生します。
 - この遅延をなくすには、ソースのグループが有効設定を変更します。ただし、ソースをグループ化したステレオと共有することはできません（[一般設定](#), 28 ページ）。

注：ステレオがグループの一部である場合は、設定を変更できません。設定を変更するには、ステレオをグループから削除する必要があります。

グループの同期化

デフォルトでは、グループ内のステレオをオフにしても、作成したグループは維持されません。グループに追加されている単一のステレオをオフにすると、それはグループから離脱します。グループ内のプライマリステレオをオフにすると、そのグループは解体されます。グループ同期を有効にすると、ステレオをオフにした後もグループメンバーシップを保持できます。グループ同期の動作は、ステレオのオン / オフの切り替え方法によって異なります。

- ステレオの電源ボタンまたはイグニッショナーワイヤー（赤いワイヤー）の物理的スイッチを使用して、同期化されたステレオの電源をオン / オフにすると、グループ内の同期化されたステレオすべてが同時にオン / オフになります。これは、そのステレオがグループ内のプライマリステレオであるかどうかにかかわらず、グループ内の同期されたすべてのステレオに適用されます。

注：ステレオの電源メニューからすべてオフを選択すると、グループに属していない場合やグループ同期が有効になっている場合でも、ネットワーク上のすべてのステレオがオフになります。

- 同期化されたステレオのオン / オフを、電源ワイヤー（黄色のワイヤー）の物理的スイッチを使用して切り替えると、グループ内の他の同期化されたステレオは次のように異なった動作をします。
 - 同期されたステレオがグループ内のプライマリステレオである場合、それを電源ワイヤーの物理的スイッチを使用してオフにすると、グループ内の他の同期されたステレオはオンのままグループから離脱します。プライマリステレオの電源を再びオンにすると、同期された他のステレオはグループに再加入します。
 - 同期されたステレオがグループ内のプライマリステレオではない場合、それを電源ケーブルの物理的スイッチを使用してオフにしても、グループ内の他の同期されたステレオはすべてオンでありグループ化されたままです。再びオンにすると、そのステレオはグループに再加入します。

グループ同期を有効にする

グループ同期設定を有効にする前に、既存のグループからステレオを削除する必要があります。ステレオがグループの一部である場合は、設定を更新できません。

この設定は、電源を入れ直した後でもグループ設定を保持するようにしたい各ステレオで有効にする必要があります。

1  > 設定の順に選択します。

2 ステレオの名前を選択します。

3 電源オプション > グループ同期の順に選択します。

このステレオでは、電源を入れ直してもグループ設定が保持されます。

4 必要に応じて、別のステレオについてもこの手順を繰り返します。

注：同期を正しく機能させるには、すべてのネットワークステレオでグループ同期を有効にする必要があります。

LED 照明コントロール

Garmin Spectra™ 照明コントローラを取り付けている場合は、ステレオを使用して、接続されている LED ライトで一部の機能を作動または変更することができます。LED ライトのオン / オフ、事前にプログラムされた照明効果の選択、保存されたシーンのアクティブ化、音に同期を使用して、ステレオで再生される音楽に合わせて色と輝度が変わるようにライトを設定できます。必要に応じて、ActiveCaptain® アプリを使用するか、照明コントローラおよびステレオと同じ NMEA 2000 ネットワークおよび船舶ネットワーク上の互換性のあるチャートプロッターを使用して、より高度なライトの制御および設定を実行できます。完全な手順については、チャートプロッターのマニュアルを参照してください。

△ 警告

一部の LED 照明効果を設定したり、音楽に反応するように LED ライトを設定したりすると、さまざまな間隔でライトが点滅する場合があります。てんかんをお持ちの場合、または強い光や点滅する光に敏感な場合は、医師にご相談ください。

注記

ステレオを使用して接続されているライトを制御するには、まず、照明コントローラおよびステレオと同じ NMEA 2000 ネットワーク上にある互換性のあるチャートプロッターを使用してライトを初期化する必要があります。初期化手順については、Garmin Spectra 照明コントローラのインストールガイド、またはチャートプロッターのマニュアルを参照してください。互換性のあるチャートプロッターが接続されていない場合は、モバイルデバイスの ActiveCaptain アプリを使用してライトを初期化することもできます。

船舶で特定の LED の色（赤色や緑色など）を使用すると、船舶用ナビゲーションライトの使用や操作に関する法律、規制、規格に違反する可能性があります。適用される法律、規制、および規格を遵守することは、ユーザーの責任となります。Garmin は、遵守の欠如に起因する罰金、罰則、出頭命令、または損害については一切責任を負いません。

LED ライトのオン/オフの切り替え

- 1  > LED の制御を選択します。
- 2 ライトを選択し、オン / オフするライトまたはライトグループを選択します。
- 3 オンを選択して、ライトをオンにします。
- 4 再度オンを選択して、ライトをオフにします。

LED ライト効果をオンにする

△ 警告

一部の LED ライト効果を選択すると、さまざまな間隔でライトが点滅する場合があります。てんかんをお持ちの場合、または強い光や点滅する光に敏感な場合は、医師にご相談ください。

Garmin Spectra 照明コントローラには、あらかじめプログラムされている照明効果があり、ステレオを使用してオンにできます。

- 1  > LED の制御を選択します。
- 2 ライトを選択し、照明効果を使用するライトまたはライトグループを選択します。
- 3 効果を選択し、あらかじめプログラムされている照明効果のいずれかを選択して、接続されているライトで効果を開始します。

LED ライトシーンの開始

注記

ステレオを使用して LED ライトシーンを開始する前に、接続されているチャートプロッターを使用して少なくとも 1 つのシーンを作成する必要があります。完全な手順については、チャートプロッターのマニュアルを参照してください。

- 1  > LED の制御 > シーンを選択します。
以前に作成されたシーンのリストが表示されます。
- 2 開始するシーンを選択します。

音楽に反応するように LED ライトを設定する

⚠️ 警告

LED ライトを音楽に反応するように設定すると、さまざまな間隔でライトが点滅することがあります。てんかんをお持ちの場合、または強い光や点滅する光に敏感な場合は、医師にご相談ください。

注記

接続されている LED ライトがステレオで再生された音楽に反応するように設定するには、接続されているチャートプロッターを使用して、ライトまたはライトグループをこのステレオのオーディオゾーンに関連付ける必要があります。完全な手順については、チャートプロッターのマニュアルを参照してください。

- 1  LED の制御を選択します。
- 2 ライトを選択し、音楽に反応するように設定するライトまたはライトグループを選択します。
- 3 音に同期を選択し、次のオプションを選択します。

- 再生中の音楽の強度にライトを反応させるには、カラーブレンドを選択します。
- 再生中の音楽の低音と高音にライトを反応させるには、オーディオスペクトルを選択します。

この機能で使用する色を変更するには、接続されているチャートプロッターを使用する必要があります。完全な手順については、チャートプロッターのマニュアルを参照してください。

LED ライトの制御と設定 (ActiveCaptain アプリを使用)

モバイルデバイスは、ステレオと同じネットワーク上のワイヤレスルーターまたはワイヤレスアクセスポイントに接続できます。この方法でステレオに接続すると、ActiveCaptain アプリを使用して Garmin Spectra LED コントロールモジュールに接続されたライトを設定および制御できます。ステレオおよび LED コントロールモジュールが、互換性のあるチャートプロッターと同じ NMEA 2000 ネットワークに接続されている場合は、ActiveCaptain アプリをステレオではなくチャートプロッターに接続する必要があります。これにより、照明コントロールに加え、アプリに含まれるすべての機能を使用できるようになります。手順については、チャートプロッターのマニュアルを参照してください。

注：モバイルデバイスをステレオに接続する前に、イーサネットケーブルを使用してステレオをワイヤレスルーターに接続する必要があります。

ActiveCaptain アプリの操作手順

ActiveCaptain アプリを使用して、モバイルデバイスをステレオと同じネットワーク上のワイヤレスルーターまたはワイヤレスアクセスポイントに接続できます。アプリを使用すると、Garmin Spectra LED コントロールモジュールに接続されたライトをすばやく簡単に設定して操作できます。

- 1 必要に応じて、イーサネットケーブルを使用して、ステレオをワイヤレスルーターまたはワイヤレスアクセスポイントのあるネットワークに接続します。
- 2 モバイルデバイスのアプリケーションストアから、ActiveCaptain アプリをインストールして開きます。
- 3 ヒント：モバイルデバイスを使用してこの QR コードをスキャンし、アプリをダウンロードできます。
- 4 ActiveCaptain アカウントを使用して、Garmin アプリにログインします。
- 5 モバイルデバイスをワイヤレスルーターまたはワイヤレスアクセスポイントの 32 m (105 ft.) 以内に近づけます。
- 6 ActiveCaptain アプリで、接続を選択します。



アプリがワイヤレスネットワークに接続され、メイン画面に戻ります。

アプリがワイヤレスルーターまたはワイヤレスアクセスポイントに正しく接続されると、ポートアリタブに照明のオプションが表示されます。

接続済みの LED ライトの初期化 (ActiveCaptain アプリを使用)

ステレオを使用して接続済み LED ライトを操作するには、最初に、接続済みの LED がサポートしている光源タイプに関する情報を入力してライトを初期化する必要があります。

- 1 必要に応じて、ActiveCaptain アプリを開き、ワイヤレスルーターまたはワイヤレスアクセスポイントに接続します。
 - 2 ActiveCaptain アプリで、**設定 > 照明**を選択します。
接続されている LED コントロールモジュールのリストが表示されます。
 - 3 初期化する LED ライトが接続されている LED コントロールモジュールを選択し、**ライト**を選択します。
使用可能なすべてのライトのリストが表示されます。黄色の円が付いているライトは、システムで使用する前に初期化する必要があります。
 - 4 リストから、接続されている LED ライトを選択します。
 - 5 **ライトのタイプ**を選択し、接続されている LED のタイプを選択します：
 - RGB : 接続されている調光 LED は全範囲の色をサポートします。
 - RGBW : 接続されている調光 LED は全範囲の色と高品質な白色光をサポートします。
 - CRGBW : 接続されている調光 LED は全範囲の色と複数の色温度の白色光をサポートします。
 - シングルチャンネル : この調光 LED は 1 つの専用色をサポートします。
- ヒント：識別を選択すると、選択中のライトが点灯します。これにより、選択中の LED のタイプを識別したりテストしたりすることができます。
- 6 目的の LED ライトがすべて初期化されるまで、接続されているすべてのライトに対してこの手順を繰り返します。

一般設定

注：ステレオがグループ内にある場合は、そのステレオで設定を変更することはできません。

■ > 設定の順に選択し、ステレオの名前を選択します。

注：チェックボックスにチェックが入っているとき、オプションはオンです。チェックボックスにチェックが入っていないとき、オプションはオフです。

デバイス名：このデバイスの名前を設定します。

チューナーの地域：FM と AM のソースで使用する地域を設定します。

この設定は、DAB および SiriusXM ソースを設定する場合にも必要です。

テレミュートの設定：ワイヤーハーネス内の TELEMUTE ケーブルで信号を検出したときのステレオの動作を設定します。これは通常、Fusion ハンドヘルドマイクのボタンを押したまま Aux ソースに変更するために使用されます。また、ハンズフリー携帯電話キットに接続されている場合は、オーディオをミュートするか、Aux ソースに変更するかを選択できます。詳細については、Fusion ハンドヘルドマイクまたはハンズフリー携帯電話キットの指示を参照してください。

注：この設定は、Bluetooth テクノロジーを使用してステレオに接続されている電話には影響しません。

電源オプション：グループ同期などの電力設定を調整します。

検索：Fusion Alpha Search Technology (FAST) を有効にします。トラックを文字または数字ですばやく検索できるようになります。FAST メニューを有効にする数字を選択して、選択した数を超えるアイテムが音楽デバイスに含まれている場合にこのメニューを有効にできます。

ゾーン：スピーカーゾーンを構成できます ([スピーカーゾーンの設定](#), 29 ページ)。

ソース：ステレオ上のソースおよびグループを有効/無効にしたり、名前を指定したりすることができます ([ソースの設定](#), 32 ページ)。

ネットワーク：Fusion PartyBus ネットワーク設定を構成できます ([ネットワークの設定](#), 32 ページ)。

更新：接続されている USB フラッシュドライブ上の適切な更新ファイルを使用して、ステレオまたは接続されているデバイスを更新します ([更新オプション](#), 35 ページ)。

注：USB フラッシュドライブにロードされた更新ファイルを使用せずに、モバイルデバイスの Fusion Audio アプリを使用してソフトウェアを更新する場合、このメニューを使用する必要はありません ([Fusion Audio アプリを使用したソフトウェアの更新](#), 41 ページ)。

更新 > 工場出荷時の設定にリセット: すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

バージョン情報: ステレオおよび接続されているアクセサリのソフトウェアバージョン情報を表示します。

スピーカーゾーンの設定

内蔵アンプを無効にする

スピーカーを直接ゾーン 1 とゾーン 2 に接続しない場合は、内蔵アンプを無効にすると消費電力を削減できます。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ステレオの名前を選択します。
- 3 ゾーンを選択します。
- 4 内部アンプオンを選択して、チェックボックスをオフにします。

ホームゾーンの設定

ホームゾーンは、リモートコントロールでダイヤルを回したときにデフォルトで調整されるスピーカーゾーンです。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 このステレオで使用するリモートコントロールの名前を選択します。
- 3 ホームゾーンを割り当てますを選択します。
- 4 ゾーンを選択します。

ソースとゾーンの音量レベルを同期する

1 つまたはすべてのゾーンの音量レベルを、Bluetooth または AirPlay ソースなどのソースデバイスと同期できます。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ステレオの名前を選択します。
- 3 ゾーン > スマートフォンのボリュームを同期の順に選択します。
- 4 ゾーンまたはすべてを選択します。

接続されているソースの音量を調整すると、選択したゾーンの音量も調整されます。

電源オン音量制限を調整する

デフォルトでは、ステレオをオンにしたとき、オフにしたときよりも音量が大きくなっている場合、音量が自動的にレベル 12 に下げられます。ステレオをオンにしたとき、それよりも大きい音量を維持したい場合、またはそれよりも小さい音量に制限したい場合は、この制限を調整できます。

注: この設定は、ステレオのすべてのゾーンに適用されます。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ステレオの名前を選択します。
- 3 ゾーン > 電源オン音量制限の順に選択します。
- 4 音量制限を調整します。

個々のゾーンの音量レベルを維持する

個々のゾーンの音量レベルを調整して、一部のゾーンの音量が他のゾーンよりも大きくなるようにした場合、すべてのゾーンの音量を調整すると、個々のゾーンの音量設定がすべて影響を受けます。デフォルトでは、すべてのゾーンの音量を 00 に調整すると、すべてのゾーンの音量レベルのセットが 00 になり、個々のゾーンの音量調整がすべてリセットされます。音量比を維持オプションを有効にすると、すべての音量を 00 に調整したとき、個々のゾーンの音量調整を保持できます。

注：この設定は、ステレオまたは接続されている Apollo ERX400 リモコンの音量調整にのみ適用されます。接続されているチャートプロッターまたは NRX リモコンを使用してステレオの音量を調整しても、音量レベルはリセットされます。

ヒント：この設定を有効にした場合に最適な結果を得るには、電源投入時の音量制限を 24 に設定する必要があります ([電源オン音量制限を調整する, 29 ページ](#))。

- 1 **≡ > 設定** の順に選択します。
- 2 リモートコントロールの名前を選択します。
- 3 **音量比を維持**を選択します。

速度に基づく自動音量調整を有効にする

- 1 **≡ > 設定** の順に選択します。
- 2 ステレオの名前を選択します。
- 3 **ゾーン > 速度と音量の比率 > 有効** の順に選択します。
- 4 必要に応じて、設定を更新して速度ソースを選択します ([自動音量調節設定, 30 ページ](#))。

自動音量調節設定

≡ > 設定を選択し、ステレオ名を選択して、**ゾーン > 速度と音量の比率**を選択します。

有効：自動音量調節機能を有効にします。

速度ソース：速度を決定するためにステレオが使用するソースを設定します ([速度ソース情報, 30 ページ](#))。

最高/最低速度：選択した速度ソースの予想される最高および最低速度の範囲を設定します。最小設定は、ダイヤルを回して設定したレベルで音量が再生される速度を示します。最大設定は、音量を上げる設定で設定された最大レベルで音量が再生される速度を示します。

ヒント：これらの値は、エンジンまたはセンサーから通常予想される速度で設定し、必要に応じて調整する必要があります。

音量を上げる：選択した速度ソースが最高/最低速度設定で設定された最高速度に達したときの、各ゾーンの合計音量増加を設定します。このレベルを高く設定するほど、設定された最高速度に近づくときの音量が大きくなります。

注：速度に合わせて音量が上がるとき、実際の音量出力は変化しますが、音量レベルインジケータバーと数字は変化しません。

カスタムユニット：船舶の速度または風速を示すために使用する測定単位を変更します。

速度ソース情報

≡ > 設定を選択し、ステレオ名を選択して、**ゾーン > 速度と音量の比率 > 速度ソース**を選択します。

エンジン回転数：サポートされている NMEA 2000 エンジンが提供する RPM 読み取り値を使用します。設定された最小速度から設定された最大速度までエンジン回転数が上昇するのに従い、音量が増加します。サポートされている複数のエンジンが接続されている場合、ステレオはすべてのエンジン RPM 読み取り値の平均値を使用します。

SOG：サポートされている NMEA 2000 GPS アンテナまたは内蔵 GPS アンテナ付きチャートプロッターが提供する、対地速度 (SOG) 読み取り値を使用します。設定された最小速度から設定された最大速度まで SOG が上昇するのに従い、音量が増加します。

SOG：サポートされている NMEA 2000 航行スピードセンサーによって提供される対水速力 (STW) の読み取り値を使用します。設定された最小速度から設定された最大速度まで STW が上昇するのに従い、音量が増加します。

風速：サポートされている NMEA 2000 風速センサーが提供する風速の読み取り値を使用します。設定された最小速度から設定された最大速度まで風速が上昇するのに従い、音量が増加します。

ゾーンを無効にする

未使用的ゾーンを無効にして、オーディオレベルのページから削除できます。ゾーンが無効になっていると、そのゾーンの設定を変更することはできません。ゾーン1を無効にすることはできません。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ステレオの名前を選択します。
- 3 ゾーンを選択します。
- 4 ゾーンを選択します。
- 5 有効なゾーンを選択して、チェックボックスをオフにします。

ゾーン名を設定する

スピーカーゾーンに名前を設定して、見分けやすくすることができます。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ステレオの名前を選択します。
- 3 ゾーンを選択します。
- 4 ゾーンを選択します。
- 5 ゾーン名を選択し、オプションを選択します：
 - ・ リストから定義済みの名前を選択します。
 - ・ カスタム名を選択し、ゾーンに一意の名前を入力します。

ゾーンをリンクする

ゾーン1と2をリンクして、音量レベルを同期したままにすることができます。リンクしたゾーンのどちらかの音量を調整すると、両方のゾーンの音量に影響が及びます。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ステレオの名前を選択します。
- 3 ゾーン > ゾーン2 > ゾーン1へリンクを選択します。

注：ゾーン1と2をリンクした後は、各ゾーンの音量を別々に調整することはできません。

ゾーン3または4の音量調節を接続されたアンプからできるようにする

デフォルトでは、ゾーン3と4の音量はステレオによって制御されます。接続されたアンプを使用しても、これらのゾーンの音量を制御できます。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ステレオの名前を選択します。
- 3 ゾーンを選択します。
- 4 ゾーン3またはゾーン4を選択します。
- 5 音量調節を選択して、チェックボックスをオフにします。

ゾーンからのオーディオ信号は、固定ラインレベル出力として最大音量でアンプに送信されます。

サブウーファーフィルタを調整する

サブウーファーフィルタ設定を使用して、各ゾーンのサブウーファーのカットオフ周波数を制御できます。これにより、スピーカーとサブウーファーによって作り出されるサウンドの融合を増進できます。選択した周波数を超えるオーディオ信号はサブウーファーに送られません。

注: Fusion Audio アプリを使用して DSP 設定がゾーンに適用されている場合、この設定をステレオで変更することはできません。

- 1 **≡> 設定**の順に選択します。
- 2 ステレオの名前を選択します。
- 3 ゾーンを選択します。
- 4 ゾーンを選択します。
- 5 %1 のサブ周波数を選択します。
- 6 周波数を選択します。

ゾーンの追加のオーディオ設定を調整する

- 1 **≡> 設定**の順に選択します。

- 2 ステレオの名前を選択します。

- 3 ゾーンを選択します。

- 4 ゾーンを選択します。

- 5 オプションを選択します (複数可)。

- このゾーンの最大出力音量を制限するには、ボリューム制限を選択してレベルを調整します。
- このゾーンの左右のスピーカーバランスを調整するには、バランスを選択してバランスを調整します。
- このゾーンに関連付けられている外部アンプへの出力を減らすには、外部アンプゲインを選択し、ゲインレベルを調整します。
- このゾーンに関連付けられている内部アンプへの出力を減らすには、内部アンプゲインを選択し、ゲインレベルを調整します。

注: この設定は、内部アンプに関連付けられたゾーンでのみ使用できます (通常、ゾーン 1 とゾーン 2)。

- このゾーンの出力をステレオからモノラルに変更するには、モノラルを選択します。

注: モノラル設定は、聴く位置が他のスピーカーよりも特定のスピーカーに近く、そのチャンネルだけが主に聞こえる場合に便利です。モノラル設定では、ゾーン内の各スピーカーの両方のチャンネルが結合されます。

ソースの設定

- ≡> 設定**の順に選択してステレオの名前を選択し、ソースを選択して設定するソースの名前を選択します。

注: このメニューには、システム全体のソースの設定が含まれています。ほとんどのソースには、ソース固有の設定もあります。ソース固有の設定の詳細については、このマニュアルの、各ソースのセクションを参照してください。

ステレオのすべてのソースで、すべてのオプションを使用できるわけではありません。

ソースが有効: このステレオのソースを有効または無効にします。ソース選択の画面に表示されないように、ステレオで使用しないソースを無効にできます。

グループが有効: ソースがグループ内の他のステレオに接続されている場合に、ソースの共有を有効または無効にします (Fusion PartyBus ネットワーク, 23 ページ)。AM など、一部のソースの共有は無効にしてください。Fusion PartyBus ネットワーク経由のストリーミングによりわずかなオーディオ遅延が生じて、状況によっては望ましくないためです。

ソース名: このステレオで表示される、ソースの名前を変更します。これは、グループ内の他のステレオにどのようにソースが表示されるかにも影響します。

ネットワークの設定

注: Garmin チャートプロッターがネットワーク上で検出されると、ステレオは自動的に Garmin® Marine Network モードに切り替わり、その他のすべてのネットワーク設定は無効になります。

≡ > 設定を選択し、ステレオ名を選択して、ネットワークを選択します。

DHCP クライアント: デバイスを DHCP クライアントとして設定します。これは、DHCP サーバーとして設定されていないすべてのデバイスのデフォルト設定です。

静的 IP: デバイスの静的 IP アドレスを設定できます ([静的 IP アドレスを設定する, 33 ページ](#))。

詳細: ネットワーク構成に関する情報を表示します。

詳細: DHCP サーバーを設定し、このステレオのすべてのネットワーク設定を工場出荷時の初期設定値にリセットできます。

保存: ネットワーク設定の変更を保存できます。

ステレオを有線 DHCP サーバーとして設定する

3 台以上のネットワークデバイスを直接接続している場合、またはネットワークスイッチまたはワイヤレスアクセスポイントを使用しておりルーターを設置していない場合には、1 台の Fusion PartyBus ステレオだけを DHCP サーバーとして設定する必要があります。

注: Fusion PartyBus デバイスは、ネットワーク上で DHCP サーバーなしで相互に通信できますが、最初に電源をオンにしたときに、デバイス同士の接続に時間がかかります。最良の結果を得るため、適切に設定された DHCP サーバーをネットワーク上に配置することを強くお勧めします。

注: 船舶に Garmin BlueNet ブリッジを介して接続された Garmin Marine Network と Garmin BlueNet ネットワークが混在している場合は、すべてのステレオが Garmin BlueNet ネットワークに接続されている必要があります。

1 ≡ > 設定の順に選択します。

2 ステレオの名前を選択します。

3 ネットワーク > 静的 IP > 保存の順に選択します。

静的 IP アドレスを使用するようにステレオを設定してから、有線 DHCP サーバーとして設定する必要があります。

4 詳細 > DHCP サーバー > DHCP 有効 > 保存の順に選択します。

DHCP サーバーの IP アドレス範囲を構成できます ([DHCP 設定, 34 ページ](#))。

静的 IP アドレスを設定する

ステレオは静的 IP として構成されると、自動的に IP アドレス 192.168.0.1 が割り当てられます。この IP アドレスは変更できます。

ステレオがネットワーク上の DHCP クライアントであり、DHCP サーバーがステレオに IP アドレスを自動的に割り当てないようにしたければ、静的 IP アドレスを設定します。

注: ネットワーク上のすべてのデバイスに固有の IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上の別の IP アドレスと同じ静的 IP アドレスを選択すると、デバイスは正しく動作しません。

1 ≡ > 設定の順に選択します。

2 ステレオの名前を選択します。

3 ネットワーク > 静的 IP を選択します。

4 次のオプションを選択します。

- IP アドレスを設定するには、IP を選択して IP アドレスを入力します。

- サブネットマスクを設定するには、マスク : %1 を選択し、サブネットマスクを入力します。

注: サブネットマスクは、正しく機能するため、ネットワーク上の他のすべてのデバイスと一致しなければなりません。一般的なサブネットマスクは 255.255.255.0 です。

- デフォルトゲートウェイ IP アドレスを設定するには、ゲートウェイを選択してゲートウェイ IP アドレスを入力します。

注: デフォルトゲートウェイは通常、ネットワーク上の DHCP サーバーの IP アドレスとして設定します。

5 保存を選択します。

DHCP 設定

≡> 設定を選択し、ネットワーク > 詳細 > DHCP サーバーを選択します。

DHCP 有効: デバイスをネットワーク上の DHCP サーバーとして設定します。

開始 IP : %1: DHCP サーバーの IP アドレス範囲の最初の IP アドレスを設定します。

終了 IP : %1: DHCP サーバーの IP アドレス範囲の最後の IP アドレスを設定します。

Garmin ネットワークへのステレオの接続

注: ステレオを Garmin BlueNet ネットワークまたは Garmin Marine Network に接続した場合は、Garmin および Fusion デバイスのみの使用に制限されます。このステレオでは、サードパーティー製のルーターまたはその他のネットワーク製品を直接使用できません。

互換性のある Garmin チャートプロッターを使用してステレオを表示および制御するために、このステレオを Garmin BlueNet ネットワークまたは Garmin Marine Network に接続できます。

注: Garmin チャートプロッターがネットワーク上で検出されると、ステレオは自動的に Garmin® Marine Network モードに切り替わり、その他のすべてのネットワーク設定は無効になります。

このステレオは、Garmin BlueNet デバイスと Garmin Marine Network デバイスの両方に対応しています。

Garmin BlueNet テクノロジーに関する詳細 (Garmin BlueNet デバイスと Garmin Marine Network デバイスの両方を含むネットワークを構築するためのベストプラクティスなど) については、garmin.com/manuals/bluenet を参照してください。

注: 船舶に Garmin BlueNet ブリッジを介して接続された Garmin Marine Network と Garmin BlueNet ネットワークが混在している場合は、すべてのステレオが Garmin BlueNet ネットワークに接続されている必要があります。

ヒント: ステレオが Garmin ネットワークに接続されている場合、接続されている Garmin チャートプロッターのワイヤレスアクセスポイントにモバイルデバイスを接続し、Fusion Audio アプリを使用してステレオを制御できます。

- 1 ステレオを接続するのに最適な Garmin BlueNet ネットワークまたは Garmin Marine Network 上のデバイスを特定します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ステレオを Garmin BlueNet デバイスに接続するには、Garmin BlueNet ネットワーク / RJ45 アダプタケーブル (別売。010-12531-02) を使用します。
 - ステレオを Garmin Marine Network デバイスに接続するには、Garmin Marine Network / Fusion ケーブル (010-12531-20) を使用します。

ネットワーク設定をリセットする

このステレオのすべてのネットワーク設定を工場出荷時の初期設定にリセットできます。

1 ≡> 設定の順に選択します。

2 ステレオの名前を選択します。

3 ネットワーク > 詳細 > リセット > はいを選択します。

更新オプション

注記

ソフトウェアの更新中は、デバイスの電源をオフにしたり、電源を切断したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、デバイスが応答しなくなる場合があります。

注：

- USB フラッシュドライブにロードした更新ファイルを使用してソフトウェアを更新できます。USB フラッシュドライブは、ソフトウェア更新ファイルを手動でダウンロードするか、Garmin Express™ アプリを使用することによって準備できます。[\(USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新する, 38 ページ\)](#)。
- ステレオがワイヤレスネットワークに接続されている場合は、USB フラッシュドライブにロードされた更新ファイルを使用する代わりに、モバイルデバイス上の Fusion Audio アプリを使用してソフトウェアを更新できます。[\(Fusion Audio アプリを使用したソフトウェアの更新, 41 ページ\)](#)。
- ステレオがソフトウェアバージョン 6.20 以降で動作し、互換性のある Garmin チャートプロッターに接続されている場合は、ActiveCaptain または Garmin Express ネットワーク更新 ([ネットワーク更新オプション, 42 ページ](#)) を使用してステレオを更新できます。ステレオのソフトウェアバージョンが 6.20 より前の場合は、互換性のある Garmin チャートプロッターを使用して更新する前に、まず USB フラッシュドライブを使用して更新する必要があります。
- デバイスは、更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。
- 新しいバージョンのソフトウェアのみをデバイスにプログラムできます。

≡ > 設定 > 更新を選択します。

デバイスの更新: 接続されている USB フラッシュドライブ上の有効なソフトウェア更新ファイルを使用してステレオを更新します。[\(USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新する, 38 ページ\)](#)。

アクセサリー > NRX リモート: NMEA 2000 または NRX ネットワークに接続されているオプションの NMEA 2000 リモートを更新します。

アクセサリー > ERX リモート: 接続されている USB フラッシュドライブ上の有効なソフトウェア更新ファイルを使用して、ETHERNET ポートまたは Fusion PartyBus ネットワークに接続されているオプションの Apollo ERX400 リモートを更新します。[\(USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新する, 38 ページ\)](#)。

アクセサリー > DAB モジュール: SIRIUS XM ポートに接続されているオプションの DAB モジュールを更新します。

Garmin デバイスの保存: 接続されているデバイスの情報を接続されている USB フラッシュドライブに保存します。この情報は、適切なソフトウェア更新ファイルを含む USB フラッシュドライブを準備する際に Garmin Express プログラムが必要とします。

工場出荷時の設定にリセット: 初期設定にリセットします。

追加のステレオコントロールオプション

Garmin ウオッチに接続する

ウォッチの詳細については、garmin.com/manuals でウォッチのマニュアルを参照してください。

1 ウォッチのマニュアルの指示に従って、Fusion Audio ストアからウォッチに Connect IQ™ アプリをインストールします。

2 ステレオで BLUETOOTH ソースを選択します。

3  > BLUETOOTH > コネクション > 検出可能を選択します。

ステレオは 2 分間検出可能になります。

4 ウォッチをステレオから 3 m (10 ft.) 内に置きます。

注：ペアリング中は、他の ANT® デバイスから 10 m (33 ft) 以上離します。

5 ウォッチで Fusion Audio アプリを開きます。

アプリをウォッチで初めて開くと、ウォッチは自動的にステレオとペアリングされて接続します。別のステレオとペアリングしたい場合は、Fusion Audio アプリで **Settings > Pair new** の順に選択します。

6 ウォッチの Fusion Audio アプリを使用して、オーディオ再生を操作します。

デバイスはペアリングされると、電源がオンになったとき範囲内にあれば、自動的に接続し、アプリはウォッチで開きます。

ARX70 リモートコントロールに接続する

1 ステレオで BLUETOOTH ソースを選択します。

2  > BLUETOOTH > コネクション > 検出可能の順に選択します。

ヒント：ステレオの  ボタンを押して、検出可能にすることもできます。

3 ARX70 リモートコントロールをステレオの 10 m (33 ft.) 以内に置きます。

注：ペアリング中は、他の ANT デバイスから 10 m (33 ft) 以上離します。

4 ARX70 リモートコントロールで、ステータス LED が緑と赤で交互に点滅するまで  を長押しします。

リモートコントロールがそのステレオを検索します。リモートコントロールのペアリングが正常に終了すると、ステータス LED が短く緑で点灯してから消灯します。

リモートコントロールがステレオを検出できない場合は、ステータス LED が短く赤で点灯してから消灯します。

Fusion Audio ワイヤレスリモートコントロールアプリ

互換性のある Fusion Audio または Apple デバイスの Android リモコンアプリを使用して、ステレオ音量の調整、ソースの変更、再生の制御、ラジオプリセットの選択と管理、および一部のステレオ設定を調整できます。アプリを使用して、ステレオの DSP プロファイルを設定および構成できます。アプリを使用して、ステレオのソフトウェアを更新できます。

アプリは、モバイルデバイスへのワイヤレス接続を使用してステレオと通信します。アプリを使用するには、Bluetooth 技術を使用して、対応デバイスをステレオに接続する必要があります。

ステレオが Wi-Fi® アクセスポイントでネットワークに接続されている場合、アプリはネットワークを使用してステレオと通信し、Bluetooth 接続よりも広い通信範囲を得ることができます。

注：Bluetooth 接続を使用してステレオのソフトウェアを更新することはできません。ステレオソフトウェアをワイヤレスで更新するには、Wi-Fi 接続を使用してアプリを接続する必要があります。

USB ケーブルを使用して Apple デバイスをステレオに接続し、ステレオのソフトウェアを更新できます。

対応する Fusion Audio デバイスまたは Apple デバイスの Android リモコンアプリの詳細については、Apple App StoreSM または Google PlayTM ストアにアクセスしてください。

Fusion ステレオネットワークの接続とコントロール

サポートされているネットワーク方式を使用して接続すると、船舶の操舵装置、フライブリッジ、またはナビゲーションステーションに取り付けられた互換性のある多機能ディスプレイで、互換性のある Fusion エンターテイメントシステムを完全に制御できます。エンターテイメントコントロールは統合され、すっきりしたコンソールが実現します。

接続されたステレオが船舶のどこに設置されていても、接続された多機能ディスプレイをポータルとして、船舶上のすべてのオーディオを操作できます。スペースが問題になっていてユーザーがステレオにアクセスするのはリムーバブルメディアを交換するためだけであれば、互換性のある Fusion ステレオを目立たない場所に設置できます。

このデバイスは、イーサネットや Wi-Fi ワイヤレス技術など、既存の業界標準ネットワーク接続を使用して、互換性のある多機能ディスプレイと通信できます。

注：Garmin 多機能ディスプレイは、イーサネット経由で接続されている必要があります。

このデバイスは、既存の業界標準 NMEA 2000 ネットワークを使用して、互換性のある多機能ディスプレイと通信できます。

NMEA 2000 の情報

NMEA 2000 は、船舶内のデータ通信で最も一般的な船舶規格です。船舶内でナビゲーションおよびエンジン管理のデータを送信するための規格となりました。Fusion は、オーディオリモートコントロールデバイスに NMEA 2000 機能を組み込むことで、業界初の製品を発表します。ユーザーは、接続されたりモコン上で、NMEA® ネットワークを介して利用可能な一連の NMEA 2000 センテンスを監視できます。

付録

Fusion デバイスの登録

今すぐオンライン登録を完了していただければ、お客様へのサポートはさらに容易になります。

- garmin.com/account/register を参照してください。
- 購入時のレシートの原本またはコピーは安全な場所に保管しておいてください。

デバイスのクリーニング

- 1 柔らかく清潔な糸くずの出ない布を真水で湿らせます。
- 2 デバイスを軽く拭きます。

ソフトウェア更新

最良の結果を得るには、定期的にすべての Fusion デバイスのソフトウェアを更新する必要があります。接続されているすべてのステレオが同じソフトウェアバージョンを使用していない場合、Fusion PartyBus グループ機能などの一部の機能が正常に動作しない場合があります。

デバイスが、Wi-Fi ルーターを使用して Fusion PartyBus ネットワークに接続されている場合は、互換性のある Fusion Audio または Apple デバイス上の Android リモートコントロールアプリを使用して、ソフトウェアを更新することもできます。

USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新できます。適切な USB フラッシュドライブは、更新ファイルを手動でダウンロードおよびロードするか、Garmin Express アプリを使用することによって準備できます。

ステレオが互換性のある Garmin チャートプロッターと同じネットワークに接続されている場合は、チャートプロッターを使用して、ネットワークデバイス全体の更新の一部としてステレオを更新できます（[ネットワーク更新オプション、42 ページ](#)）。

USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新する

USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新できます。

注記

ソフトウェアの更新中は、デバイスの電源をオフにしたり、電源を切斷したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、デバイスが応答しなくなる場合があります。

注：

- NTFS ファイルシステムを使用してフォーマットされている USB フラッシュドライブを使用し、ソフトウェアを更新することはできません。デバイスの更新中に問題が発生した場合は、FAT32 を使用して USB フラッシュドライブをフォーマットし、更新プロセスを再試行してください。
- デバイスは、ソフトウェアの更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。
- 新しいバージョンのソフトウェアのみをデバイスにプログラムできます。

注：更新するステレオがグループ内にある場合は、そのステレオをグループから削除する必要があります ([グループから退出する, 23 ページ](#))。

1 ステレオソフトウェアを更新するための USB フラッシュドライブを準備するオプションを選択します。

- ソフトウェア更新を手動でダウンロードし、USB フラッシュドライブにロードします ([ソフトウェア更新を手動でダウンロードする, 38 ページ](#))。
- Garmin Express アプリを使用して USB フラッシュドライブを準備します ([Garmin Express アプリを使用したソフトウェア更新のダウンロード, 39 ページ](#))。

2 ソフトウェア更新ファイルを含む USB フラッシュドライブを準備したら、ステレオを更新するオプションを選択します。

- USB フラッシュドライブをステレオに挿入し、ステレオインターフェイスを使用して更新を続行します ([準備した USB フラッシュドライブからソフトウェアを更新する, 40 ページ](#))。
- USB フラッシュドライブをステレオに挿入し、接続されているチャートプロッターのインターフェイスを使用して更新を続行します ([USB フラッシュドライブと接続されている Garmin チャートプロッターを使用してソフトウェアを更新する, 42 ページ](#))。

ソフトウェア更新を手動でダウンロードする

ステレオ用の適切な更新ファイルを Garmin Web サイトからダウンロードして、ステレオを更新するための USB フラッシュドライブを手動で準備することができます。

- support.garmin.com でステレオまたはステレオデバイスのページにアクセスし、更新ファイルをダウンロードします。
- 適切にフォーマットされた、十分なサイズの USB フラッシュドライブをコンピュータに挿入します。
- .zip ファイルの内容を USB フラッシュドライブのルートに解凍します。

ソフトウェア更新の内容は、Garmin という名前のフォルダに格納されています。

- USB フラッシュドライブをコンピュータから取り出すか、安全に取り外します。

ステレオに更新をインストールします ([準備した USB フラッシュドライブからソフトウェアを更新する, 40 ページ](#))。

Garmin Express アプリを使用したソフトウェア更新のダウンロード

更新用に空の USB フラッシュドライブを使用する必要があります。更新プロセスを実行すると、USB フラッシュドライブの内容が消去され、USB フラッシュドライブが再フォーマットされます。

- 1 ステレオの電源を入れます。
- 2 USB フラッシュドライブをステレオの USB ポートに挿入します。
- 3  設定を選択し、ステレオの名前を選択してから更新 > Garmin デバイスの保存の順に選択します。
ステレオは USB フラッシュドライブに小さなファイルを書き込みます。このファイルは、Garmin Express アプリがステレオと接続されたデバイスを識別し、適切な更新ファイルをダウンロードするために使用されます。
- 4 10 秒以上経過したら、USB フラッシュドライブをステレオから取り外します。
- 5 必要に応じて、コンピュータに Garmin Express アプリをインストールします ([コンピュータへの Garmin Express アプリのインストール](#), 39 ページ)。
- 6 コンピュータで Garmin Express アプリを開きます。
- 7 USB フラッシュドライブをコンピュータに挿入します。
- 8 使用可能な場合は、船舶とデバイスを選択するか、USB フラッシュドライブを読み取ってデバイスを追加するオプションを選択します。
- 9 更新が利用可能な場合は、ソフトウェア更新 > 続行を選択します。
- 10 契約条件を読み、これに同意します。
- 11 USB フラッシュドライブのドライブ文字を選択します。
- 12 再フォーマット警告を確認し、OK を選択します。
- 13 ソフトウェア更新が USB フラッシュドライブにコピーされるまで待ちます。

注：更新ファイルを USB フラッシュドライブにコピーするには、数分から数時間かかる場合があります。

- 14 プロセスが完了したら、Garmin Express アプリを閉じます。

- 15 USB フラッシュドライブをコンピュータから取り出すか、安全に取り外します。

ステレオに更新をインストールします ([準備した USB フラッシュドライブからソフトウェアを更新する](#), 40 ページ)。

コンピュータへの Garmin Express アプリのインストール

Garmin Express アプリを Windows® または Mac® コンピュータにインストールできます。

- 1 garmin.com/express にアクセスします。
- 2 ダウンロード (Windows) またはダウンロード (Mac) を選択します。
- 3 画面に表示される手順に従います。

準備した USB フラッシュドライブからソフトウェアを更新する

ソフトウェアを更新する前に、ソフトウェア更新ファイルを適切な USB フラッシュドライブに手動でロードする(ソフトウェア更新を手動でダウンロードする, 38 ページ)か、Garmin Express アプリを使用してロードする(Garmin Express アプリを使用したソフトウェア更新のダウンロード, 39 ページ)必要があります。

注記

ソフトウェアの更新中は、ステレオの電源をオフにしたり、電源を切断したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、ステレオが応答しなくなる場合があります。

注: ステレオは、ソフトウェアの更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。

1 ステレオの電源を入れます。

2 ステレオが完全に起動したら、USB フラッシュドライブを USB ポートに挿入します。

注: 更新プロンプトが自動的に表示されるようにするには、デバイスが完全に起動した後で USB フラッシュドライブを挿入する必要があります。

3 ソフトウェアを自動的に更新するように求められたら、**今すぐ更新**を選択して更新を開始し、次の手順をスキップします。

4 更新プロンプトが自動的に表示されない場合は、次のオプションを選択します。

- ・ ステレオソフトウェアを更新するには、≡>設定を選択し、ステレオの名前を選択してから**更新 > デバイスの更新**の順に選択します。
- ・ ステレオに接続されているアクセサリを更新するには、≡>設定を選択し、ステレオの名前を選択します。次に、**更新 > アクセサリー**の順に選択し、更新するアクセサリの名前を選択します。

注記

すべてのアクセサリを正しく更新するには、まずステレオソフトウェアを更新してからアクセサリを更新する必要があります。

▲ LED が 4 回点滅し、ソフトウェアアップデートの進行中に繰り返し点灯します。

5 更新プロセスが完了するまで数分待ちます。

6 ステレオが自動的に再起動する間は、USB フラッシュドライブを取り付けたままにしておきます。

7 再起動後にステレオが完全に起動したら、USB フラッシュドライブを取り外します。

注: デバイスが完全に起動する前に USB フラッシュドライブを取り出すと、更新が完了しません。

Fusion Audio アプリを使用したソフトウェアの更新

ソフトウェア更新をステレオに転送するには、ワイヤレスルーターまたはワイヤレスアクセスポイントを使用して Fusion Audio アプリを Fusion PartyBus ネットワークに接続する必要があります。Bluetooth 接続を使用してソフトウェアを更新することはできません。

互換性のある Apple デバイスをお持ちの場合は、ステレオの USB ポートと Apple デバイスに接続された Lightning to USB 同期ケーブル（別売）を使用して、Fusion Audio アプリを介してステレオソフトウェアを更新できます。

注：更新するステレオがグループ内にある場合は、そのステレオをグループから削除する必要があります（[グループから退出する, 23 ページ](#)）。

ステレオがワイヤレスルーターまたはワイヤレスアクセスポイントを備えた Fusion PartyBus ネットワークに接続されている場合は、Fusion Audio アプリを使用してステレオのソフトウェアを更新できます。互換性のある Apple または Android 用のアプリは Apple App Store または Google Play ストアで入手できます。

注記

ソフトウェアの更新中は、デバイスの電源をオフにしたり、電源を切断したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、デバイスが応答しなくなる場合があります。

注：

- デバイスは、ソフトウェアの更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。
- 新しいバージョンのソフトウェアのみをデバイスにプログラムできます。

1 必要に応じて、次のいずれかの方法でモバイルデバイスをステレオに接続します。

- Bluetooth 接続を使用して、デバイスをステレオに接続します。

注：Bluetooth 接続を使用してステレオにアクセスし、アプリで更新をダウンロードすることができますが、更新をステレオに転送するには Wi-Fi 接続に切り替える必要があります。

- デバイスを、ステレオと同じ Fusion PartyBus ネットワーク上のワイヤレスルーターまたはワイヤレスアクセスポイントに接続します。
- 互換性のある Apple デバイスをお持ちの場合は、Lightning to USB 同期ケーブル（別売）を使用して、デバイスをステレオの USB ポートに接続できます。

2 Fusion Audio アプリを開き、アプリにステレオが表示されることを確認します。

3 Fusion PartyBus ネットワークがインターネットに接続されていない場合は、モバイルデバイスをワイヤレスルーターまたはアクセスポイントから接続解除し、インターネットにアクセスできる Wi-Fi ネットワークまたは通信事業者から提供されているワイヤレスモバイルデータ接続に接続します。

注：必要なソフトウェア更新ファイルをダウンロードするには、モバイルデバイスをインターネットに接続する必要があります。

4 Fusion Audio アプリで、⚙️ > 一般 > ソフトウェア更新の順に選択します。

5 オンラインソフトウェア更新を選択します。

アプリがソフトウェア更新ファイルをダウンロードします。

6 必要に応じて、アプリが更新ファイルのダウンロードを完了した後、Fusion PartyBus ネットワーク上のワイヤレスルーターまたはアクセスポイントにモバイルデバイスを再接続します。

注：Apple デバイスをお持ちの場合は、Lightning to USB 同期ケーブル（別売）を使用して、ワイヤレス接続ではなくステレオにデバイスを接続できます。

7 必要に応じて、Fusion Audio アプリでステレオに再接続します。

8 必要に応じて、⚙️ > 一般 > ソフトウェアアップデートの > オンラインソフトウェア更新の順に選択します。

アプリはソフトウェア更新を Wi-Fi ネットワーク経由でステレオに転送し、ステレオはソフトウェアを更新してから再起動します。

LED が 4 回点滅し、ソフトウェア更新の進行中に繰り返し点灯します。

ネットワーク更新オプション

互換性のある Garmin チャートプロッターと同じ Garmin BlueNet ネットワークまたは Garmin Marine Network に接続すると、互換性のある Fusion ステレオおよびアクセサリをチャートプロッターから更新できます。

Garmin ネットワーク更新を実行して、ネットワークに接続されているすべての Garmin および Fusion デバイスを更新できます。

ときには、ソフトウェアの更新を開始するためにステレオ画面と直接対話できない場合や、接続された Garmin チャートプロッターを使用して制御する隠しステレオがある場合があります。接続された Garmin チャートプロッターのインターフェイスを使用して、ステレオに接続された USB ストレージデバイスでステレオまたはステレオアクセサリのソフトウェア更新を開始できます。Garmin ネットワーク接続または NMEA 2000 ネットワークを使用して Garmin チャートプロッターに接続されている場合は、この方法を使用してステレオまたはステレオアクセサリを更新できます (USB フラッシュドライブと接続されている Garmin チャートプロッターを使用してソフトウェアを更新する, 42 ページ)。

Garmin ネットワークの更新の一部としてソフトウェアを更新する

ステレオが互換性のある Garmin チャートプロッターと同じ Garmin BlueNet ネットワークまたは Garmin Marine Network に接続されている場合は、チャートプロッターでネットワークの更新を実行して、接続されているすべての Garmin デバイスと Fusion デバイスを更新できます。

- 1 garmin.com/manuals にアクセスして、接続されているチャートプロッターの最新バージョンのマニュアルを探します。
- 2 ネットワークの更新を実行するには、チャートプロッターのマニュアルの指示に従ってください。ステレオを含むすべての接続されているデバイスでソフトウェアが更新されます。

USB フラッシュドライブと接続されている Garmin チャートプロッターを使用してソフトウェアを更新する

ソフトウェアを更新する前に、ソフトウェア更新ファイルを適切な USB フラッシュドライブに手動でロードする (ソフトウェア更新を手動でダウンロードする, 38 ページ) か、Garmin Express アプリを使用してロードする (Garmin Express アプリを使用したソフトウェア更新のダウンロード, 39 ページ) 必要があります。

注記

ソフトウェアの更新中は、ステレオの電源をオフにしたり、電源を切断したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、ステレオが応答しなくなる場合があります。

注：ステレオは、ソフトウェアの更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。

- 1 USB フラッシュドライブをステレオの USB ポートに挿入します。
- 2 ステレオと同じネットワークに接続されているチャートプロッターから、船 > メディア > オプション > インストールの順に選択します。
- 3 ステレオ名を選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ ステレオソフトウェアを更新するには、ソフトウェア更新 > ステレオの更新 > OK の順に選択します。
 - ・ ステレオに接続されているアクセサリを更新するには、ソフトウェア更新 > アクセサリーの順に選択し、更新するアクセサリの名前を選択します。

注記

すべてのアクセサリを正しく更新するには、まずステレオソフトウェアを更新してからアクセサリを更新する必要があります。

- 5 更新プロセスが完了するまで数分待ちます。
- 6 プロンプトが表示されたら、USB フラッシュドライブをそのままにして、ステレオを再起動します。
- 7 USB フラッシュドライブを取り外します。

注：デバイスが完全に起動する前に USB フラッシュドライブを取り出すと、更新が完了しません。

トラブルシューティング

キーを押してもステレオが反応しない

- ステレオがオフになるまで  を押し続け、もう一度オンにしてステレオをリセットします。
- ステレオの電源を 2 分間切断して、ステレオをリセットします。

Bluetooth オーディオがわずかな時間中断する

- メディアプレーヤーが何かで覆われたり遮られないようにしてください。Bluetooth 技術は、見通しが利く範囲で最適に動作します。
- メディアプレーヤーをステレオから 10 m (33 ft.) 内に置きます。
- 検出可能設定は、Bluetooth デバイスとステレオのペアリング後にオフにしてください。

Bluetooth ソースの曲情報のうちステレオに表示されないものがある

曲のタイトル、アーティスト名、トラックの再生時間、アルバムのカバーアートワークなどの曲情報が表示されるかどうかは、メディアプレーヤーと音楽アプリケーションの機能によって異なります。

ネットワークのトラブルシューティング

ネットワーク上の Fusion PartyBus デバイスが表示されないか、または接続できない場合は、次の手順を実行します。

- すべての Fusion PartyBus デバイス、ネットワークスイッチ、ルーター、ワイヤレスアクセスポイントがネットワークに接続され、オンになっていることを確認します。
- ワイヤレス Fusion PartyBus デバイスがネットワーク上のワイヤレスルーターまたはワイヤレスアクセスポイントに接続されていることを確認します。

注：有線接続はワイヤレス接続よりも信頼性が高くなります。可能な場合は、イーサネットケーブルを使用してデバイスをネットワークに接続する必要があります。

- 1 台のデバイス (ステレオまたはルーター) のみが DHCP サーバーとして設定されていることを確認します。
 - ルーターまたはワイヤレスアクセスポイントのチャネルを変更し、干渉をテストして修正します。近くに多数のワイヤレスアクセスポイントがある場合、無線の干渉が発生する可能性があります。
 - Bluetooth デバイスを取り外して、干渉をテストし、修正します。ワイヤレスアクセスポイントまたはクライアントとして設定されたステレオに Bluetooth デバイスを接続すると、ワイヤレスのパフォーマンスが低下する場合があります。
 - 接続に問題がある場合は、お使いのルーターが 2.4 GHz 帯を使用した接続に対応していることを確認してください。
- 無線ルーターに接続する場合、本機は 2.4GHz 帯を使用した接続のみに対応します。5GHz 帯では接続できません。
- 静的 IP アドレスを設定した場合は、すべてのデバイスが固有の IP アドレスを持っていること、IP アドレスの最初の 3 つの数字のセットが一致していること、および各デバイスのサブネットマスクが同一であることを確認します。
 - ネットワークの問題の原因となる可能性がある設定変更を行った場合は、すべてのネットワーク設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

ネットワークステータスのアイコン

一部のデバイスの画面には、ネットワークステータスアイコンが表示されます。次の表を参照してアイコンの外観を把握し、Fusion PartyBus ネットワークの問題の診断に役立ててください。

また、トラブルシューティング時にステレオのネットワークステータス LED で、詳細を確認することもできます ([ステレオボタンとステータス LED, 1 ページ](#))。



デバイスはネットワークに正しく接続されています。



デバイスがネットワークを検出できません。イーサネットケーブルが接続されていないか、ネットワークに他の問題がある可能性があります。

ステレオは Apple デバイスに接続したときロックされたままになる

- 電源ボタンを長押ししてステレオをリセットします。
- Apple デバイスをリセットします。 詳細については、www.apple.com を参照してください。
- Apple デバイスに最新バージョンの iTunes® と最新のオペレーティングソフトウェアがインストールされていることを確認します。

接続されている Apple デバイスをステレオが見つけられない

- ご使用の Apple デバイスが iAP2 (Interface Accessory Protocol 2) に対応していることを確認します。このステレオは、iAP1 デバイスに対応していません。
- iTunes デバイスに最新バージョンの Apple と最新のオペレーティングソフトウェアがインストールされていることを確認します。
- Fusion Audio デバイスに Apple アプリケーションの最新バージョンがインストールされていることを確認します。
- Apple デバイスをリセットします。
詳細については、apple.com を参照してください。
- Fusion 販売店に問い合わせるか、support.garmin.com にアクセスしてください。

Apple AirPlay オーディオがわずかな時間中断する

- Apple デバイスが何かで覆われたり遮られていないことを確認してください。
- Apple デバイスがステレオと同じ Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認します。
- Apple デバイスが Bluetooth 技術と Wi-Fi を使用してステレオに接続されていないことを確認します。
Bluetooth と Wi-Fi 接続の両方を使用すると、再生が中断される場合があります。

ステレオは DAB 放送局を受信しません

注：Apollo WB670 ステレオには DAB モジュールが内蔵されていません。互換性のある DAB モジュールとアンテナが必要です。

- ステレオが DAB 放送局が放送されているチューナー地域に設定されていることを確認します（[チューナーの地域を設定する, 21 ページ](#)）。
- 互換性のある DAB モジュールとアンテナが接続されていること、確実に接続されていることを確認します。
- DAB 放送局が実際に放送されている地域にいることを確認します。
- 詳細については、support.garmin.com にアクセスし、製品サポートにお問い合わせください。

仕様

重量	475 g (16.75 oz.)
防水等級	IEC 60529 IPX2 ²
動作温度範囲	0 ~ 50°C (32 ~ 122°F)
保管温度範囲	-20 ~ 70°C (-4 ~ 158°F)
入力電圧	DC 10.8 ~ 16 V
電流 (最大)	15 A
電流 (ミュート)	700 mA 未満
電流 (オフ時)	100 mA 未満
ヒューズ ³	15A ミニブレードタイプ
NMEA 2000LEN @ DC 9 V	1 (50 mA)
Bluetooth ワイヤレス接続範囲	最大 10 m (30 ft.)
ANT ワイヤレス接続範囲	最大 3 m (10 ft.)
無線周波数およびプロトコル	Bluetooth2.4 GHz @ 12 dBm 定格 ANT2.4 GHz @ 7 dBm 定格
コンパス安全距離	15 cm (6 in.)

オンボード、クラス D アンプ

チャンネルごとの音楽出力	最大 4 x 70 W、2 Ω
合計出力ピークパワー	最大 280 W
チャネルごとの出力電力	4 x 43 W RMS (DC 14.4 V 入力時)、2 Ω、10% THD ³ 4 x 26 W RMS (DC 14.4 V 入力時)、4 Ω、10% THD ³
ライン出力レベル (最大)	5.5 V (ピークツーピーク)
AUX 入力レベル (標準)	1 V RMS

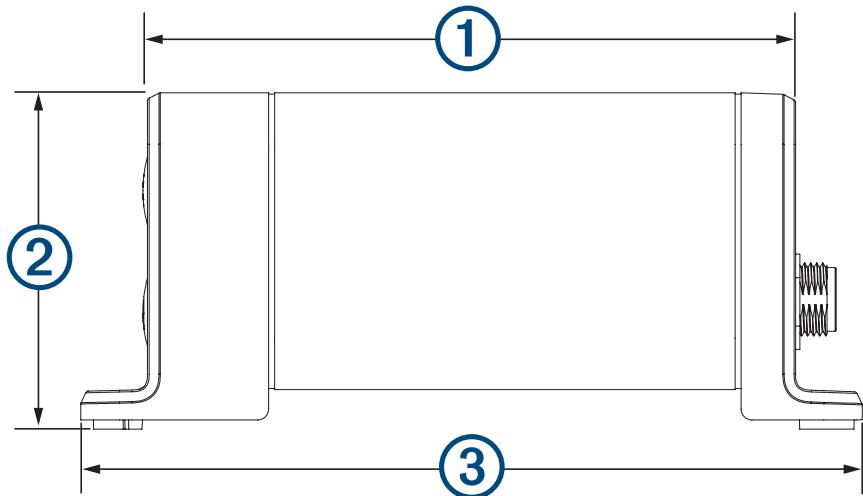
チューナー周波数

チューニング	ヨーロッパおよびオーストラリア	USA	日本
FM ラジオ周波数範囲	87.5 ~ 108 MHz	87.5 ~ 107.9 MHz	76 ~ 95 MHz
FM 周波数ステップ ³	50 kHz	200 kHz	50 kHz
AM ラジオ周波数範囲	522 ~ 1620 kHz	530 ~ 1710 kHz	522 ~ 1620 kHz
AM 周波数ステップ ³	9 kHz	10 kHz	9 kHz

² エンクロージャが通常の位置から 15 度傾いている場合、垂直方向から落下する水に対しては有害な影響を受けません。
³ ステレオは、アンプの過熱を防ぎ、オーディオダイナミクスを維持するために出力を制限することがあります。

ステレオ寸法図面

側面寸法

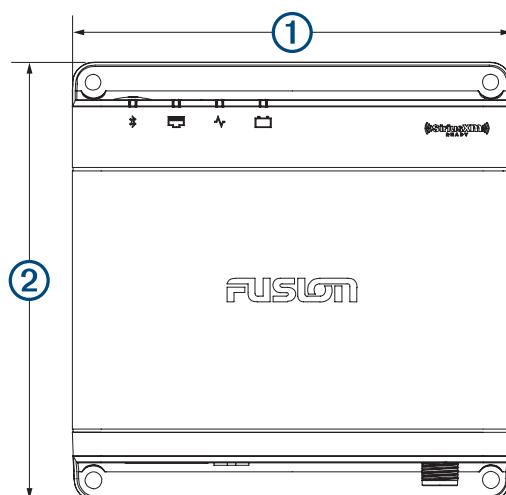


① 107 mm (4.21 in.)

② 55 mm (2.17 in.)

③ 130 mm (5.10 in.)

上部寸法



① 130 mm (5.10 in.)

② 130 mm (5.10 in.)

support.garmin.com